

会 報

第140号
(1999年7月)



関西ハ一モ二力連盟

KANSAI Harmonica Association

関西ハーモニカ連盟
会報 第140号(99年7月号)

発行部数 300 毎年4, 7, 10, 1月に発行(送付はそれぞれ前月中下旬)

関西ハーモニカ連盟 組織

理事長 仲村 眞 〒545-0005 大阪市阿倍野区三明町2-6-10
☎06 6624-5606 FAXも同じ

副理事長兼事務局長

田中 祥雄 〒610-1127 京都市西京区大原野上里鳥見町14-20
☎075 331-1033 FAXも同じ

副理事長兼編集局長

吉村 則次 〒591-8008 堺市東浅香山町3-104-5-201
☎0722 51-9398 FAXも同じ

事業部長 飛田 保雄 〒611-0031 宇治市広野町寺山17番地の79
☎0774 41-6568 FAX 0774 43-3789

研修部長 白鳥 達夫 〒577-0842 東大阪市大蓮東2-9-12
☎06 6728-7951

技術部長 宇佐美 進 〒573-1155 枚方市招提南町2-7-15
☎0720 57-2077 FAXも同じ

組織部長 大石 喜一郎 〒567-0074 茨木市新郡山2-31-35
☎0726 41-2087 FAXも同じ

会計部長 後藤 貞男 〒596-0005 岸和田市春木旭町36-17
☎0724 41-0552 FAXも同じ

常任顧問 酒井涼爾、吉森正隆、平口謙二、板村忠重

特別顧問 森本恵夫、齋藤寿孝、徳永延生、和谷泰扶

部長・局長を除く常任理事(五十音順)

新井善久、今井康郎、入江章次、上本 洋、岡村貞彦、織田太郎、楠 陽児
村上浩一、村田 潤、吉見 治、吉見 忠、渡辺 昇

会計監査 山村信彦

理事(五十音順)

青木聰、新井尚子、井上純一、梅田恒弘、梅本醇子、金川一、神戸栄一郎
木谷悦子、久保田隆、小林由美子、田代敏胤、谷口昌子、筒井松太郎、寺村安雄
中川敬一、中西康四郎、榑崎義男、西田幸司、西本豪介、畑婦美子、吹上晴彦
藤本勇、保理江元子、松川義明、水井一雄、宮本一男、村上博昭、屋嘉比盛行
和谷篤樹

入会のご案内

入会費1000円、年会費(1-12月)個人5000円、賛助会員(業者)10000円

ハーモニカが好きなたなら、吹くかた吹かないかた、聞くのが好きなかたの
かた、複音愛好のかた、クロマチック愛好のかた、ブルースハープ愛好のかた、
上手なかた下手なかた、上手になりたいかた、ニュースだけほしいかた、どなた
でも入会できます。入会金と年会費をお近くの郵便局から次の指定振替口座に振
り込みください。振込払込票の通信欄に「入会申込」と記入してください。

会員名簿(氏名、住所、電話番号)は公表いたします。

郵便振替口座 00950-6-115527 加入者名 関西ハーモニカ連盟

年度途中入会の方には、当年度(4月号~1月号)のバックナンバーを
お送りします。入会に関するお問い合わせは、上記の組織部長へ。

関西ハーモニカ連盟は、ハーモニカの普及
発展と会員相互の親睦を図ることを目的と
しています。

関西ハーモニカ連盟 会報 99/7月号 目次

表紙 幼稚園児のハーモニカ演奏	編集局	
裏表紙 ハーモニカだ!	編集局	
ハーモニカ・カレンダー(行事の記録と今後の予定)	編集局	3
10/24ハーモニカ祭り 出演者募集、応募要領、広告募集	事業部長	5
後藤貞男氏ら3名が日本ハーモニカ賞を受賞	事務局長	6
写真のページーグローヴンコンサート等ー	編集局	7
レターボックスー皆さんからのお便りー	編集局	11
各団体、当連盟会員の活躍		
大阪府立盲学校で大爆笑の演奏	水野 昭三	13
'99の幕開けはライオンズの記念式典で	関西Hポップス	14
大東市立公民館で講演と演奏	吉村 則次	15
クライン・ヴァルトゥの活動報告と予定	吉見 治	17
ライオンズクラブ機関誌に載った大東市のH教室	編集局	17
木谷悦子+徳永延生、大東市で演奏会 6/25 金	編集局	4
伊丹市立工芸センターで演奏会とハーモニカ展示(5/9)	編集局	18
若葉風 韻音の響き 堂に満つ (5/9伊丹市工芸センター)	大石 喜一郎	19
西宮器楽教室[ハモニ館]案内	吉見 治	20
第1回南大阪ハーモニカ祭りを堺市で9/12に開催	吉村 則次	6
洛水ハーモニカ同好会、合唱フェスティバル等で演奏	筒井松太郎	40
コンサート、コンサート		
音の美しさに堪能(グローヴン+崎元譲 4/29 京都)	吉村 則次	21
我が心のハーモニカとの再会()	入江 章次	23
ベルディのオペラをグローヴンと一緒に吹こうー楽譜	吉村 則次	24
シグモンド氏とデュオを(4/24グローヴン、大津フィガロ)	姉川 敏彦	25
とっておきの話 [13] 21世紀のハーモニカを考える 特別顧問	森本 恵夫	27
ハーモニカ販売高は減少傾向	編集局	29
動き出した2000年韓国大会プレイベントがソウルで 特別顧問	齋藤 壽孝	30
ハーモニカ毎日の練習 全日本総合音楽院 院長	池田 輝樹	31
技術のページ		
上下左右にも動く不思議なリードの話	吉村 則次	35
ハーモニカのJIS規格が廃止されました	横山 賢一	38
ハーモニカにワセリン	吉村 則次	42
ハーモニカ今昔ー短音階ハーモニカ誕生!	永久 欣示	39
7~9月研修会は『楽典の再確認』	研修部	41
フランス、ドーヴィルの世界大会中止	編集局	42
新しいハーモニカCD等	吉村 則次	42
会報に関し寄せられたご意見に関し編集局長の賛成と反対	編集局長	43
会員の異動のお知らせ	組織部長	47
会員名簿 (五十音順及び住所地別)	組織部	48
「だんご3兄弟」の合奏用楽譜あります	編集局	14
博物館にハーモニカを贈ろう	吉村 則次	22
クロマチック小冊子販売	吉村 則次	47
「荒城の月」を守ろう等ー新聞記事等ー	編集局	55
バンドに吊るす特製ハーモニカソフトケース発売	吉村 則次	56

==ハーモニカカレンダー==

- 2/3 水 上本 洋 関西テレビ「痛快エブリデー」に出演 1分30秒 写真参照
- 2/13 土 西田幸司氏指導の、伊丹市ラスターホールのハーモニカ教室が、同ホールの各団体発表会で演奏。写真参照
- 2/16 火曜日及び23火曜日 7pm~9pm 「この素晴らしいハーモニカの世界」
演奏と話 吉村 則次 大東市立公民館
初日には50人、2日目には30人が集まった。演奏曲数22曲。別記事参照
- 2/28 日 平城東公民館教室（上本洋）
奈良市主催 春咲きコンサート（なら100年会館）に出演
- 3/7 日 クライン・ヴァルトゥ・クワルテット コンサート
京都市自治100周年北区民にぎわいフェスタ 京都キタオオジタウン
- 3/13 土 クライン・ヴァルトゥ・クワルテット（吹上晴彦、小林由美子等）
生活環境協会「関西交流セミナーin京都99」（北大路イマミヤホール）で演奏
- 3/14 日 向日市教室（上本洋） 向日市文化祭に出演
- 3/22 祭 伊丹市立工芸センターにて同センター熊野館長とハーモニカ及び関係資料の収集に関する打ち合わせ。仲村理事長、吉村副理事長（伊丹市サンシティホール主催のクロマチック教室講師）、飛田事業部長、大石組織部長、西田理事（伊丹市ラスターホール複音教室講師）が出席した。関連記事及び写真参照
- 4/5 月 常任理事会
①ハーモニカ祭りの計画 ②会員からのアンケートに盛られた意見
③会員名簿の公開について等についての検討を行った。
- 4/17 土 3pm メロディーでつづる昭和の歌謡史 パートⅢ(昭和31~35年)
岸和田市等主催 客演 徳永 延生 岸和田市マドカホール
- 4/20 金 姉川敏彦、滋賀県甲賀郡水口町青少年健全育成学区区民会議総会で
ハーモニカ演奏と教育講演会
- 4/24 土 6:30 グローヴン・コンサート 大津市 フィガロホール
当連盟会員姉川敏彦氏も出演、「ネリー・ブライ」をデュオ。別記事及び写真参照
- 4/24 土 日本ハーモニカ芸術協会総会及びコンサート 東京銀座ヤマハホール
当連盟会員約10名が出席した。
- 4/25 日 全日本ハーモニカ連盟総会 東京ホテル聚楽
当連盟会員5名が出席した。また、「21世紀のハーモニカを考える」ディスカッションには、仲村眞理事長、吉村則次副理事長、田中祥雄副理事長が参加した。
- 4/27 火 姉川敏彦
彦根市立金城幼稚園PTA創立20周年記念・ハーモニカコンサート
- 4/28 水 関西テレビ、タモリの「笑っていいとも」に神奈川県柳川優子出演、山田花子、松村邦弘等にハーモニカを教えた。（写真参照）
- 4/29 祭 2pm シグムンド・グローベン十 崎元讓コンサート 京都コンサートホール
写真及び記事参照
- 4/30 土 姉川敏彦、大津市真野北幼稚園『感性を育む時は今！』で
ハーモニカ演奏と教育講演会
- 5/8 土 姉川敏彦、滋賀県伊香郡木之本町婦人会総会
『ハーモニカの旅・おしゃべりコンサート』
- 5/9 日 「この素晴らしきハーモニカの世界」 伊丹市立工芸センター
吉村則次（クロマチック）、西田幸司（複音）、ハーモニクス大阪（アンサンブル）が
1時間にわたり演奏した。また、ハーモニカ約100種類を展示した。
別記事及び写真参照

- 5/10 月 ハーモニカ祭り実行委員会を開催した。
- 5/19 水 みんなのハーモニカコンサート 関西日ポップス友の会主催
大阪府立文化情報センター 25人(組)が出演した。
- 5/22 土 7:00pm あらい なおこ ハーモニカ Live
スターダイナー(地下鉄千日前線桜川駅)
- 5/23 日 7:30pm あらい なおこ ハーモニカ Live
LiveスポットRAG(京都三条木屋町上ル)
- 6/6 日 10:00~16:00 徳永教室発表会 18:00~徳永延生ライブ
心斎橋 国際楽器社4階コンサートホール
- 6/11 金 姉川敏彦、大津市伊香立小学校『ハーモニカ・おもしろ玉手箱演奏会』
- 6/13 日 日本ハーモニカ芸術協会(佐秀会)関西支部連合会主催コンサート
場所 箕面市メイプルホール 562 箕面市箕面5-11-23

これからの予定

- 6/20 日 14:00 和谷泰扶 リサイタル びわ湖ホール(323席)
主催 財団法人びわ湖ホール
場所、520-0806大津市打出浜15-1、電話077-523-7133
JR大津からバスまたはJR膳所から歩15分、または京阪石場からすぐ
入場料4000円
- 6/25 金 18:30 木谷悦子 ジャズ・ポピュラーの世界 ゲスト徳永延生
大東市立総合文化センター(サーティホール) 574-0037大東市新町13-30
JR学研都市線 住道下車南側を少し四條畷方面へ戻り右折れ歩10分
問、同ホール0720-73-0810 市立文化情報センター0720-71-1125 入場料2000
- 6/29 火 姉川敏彦、彦根市中地区公民館福寿大学講座
『人生ハーモニカを友として』演奏と講演
- 7/3 土 2:00pm 和谷泰扶、びっくり!!スーパーコンサートII
共演 福田進一(ギター) 松原勝也(ヴァイオリン)
高槻現代劇場(0726-71-9999)中ホール 3,000円 チケットはびあ等で発売中
569-0077高槻市野見町2-33
- 7/31 土 6:00~8:00pm 研修会 福田診療所 別ページの研修会開催のお知らせ参照
- 8/14 土 6:00~8:00pm 研修会 福田診療所 別ページの研修会開催のお知らせ参照
- 8/22 日 12:30 エコーズ・グリーン六甲合同発表会 西宮市甲東ホール
- 9/3 金 2pm 和谷泰扶 リサイタル 大阪梅田新道 フェニクスホール
- 9/12 日 南大阪ハーモニカ祭り 堺市サンスクエアB棟地下1階「ギャラリー」
- 9/22 水 6:00~8:00pm 研修会 福田診療所 別ページの研修会開催のお知らせ参照
- 10/24 日 当連盟ハーモニカ祭り 大津市 大津市民会館
520-0042 大津市島の関14-1 電話 077-525-1234 FAX 077-525-1788
JR大津駅下車徒歩10分 出演者募集記事参照
- 11/13 土 関西ハーモニカポップス合奏団 定期演奏会 朝日生命ホール

木谷悦子 クロマチックハーモニカで奏でる
ジャズ・ポピュラーの世界
ゲスト出演 徳永 延生
99/6/25 金 6:30pm 大東市立総合文化センター・多目的小ホール
JR学研都市線 住道下車南東へ歩5分
前売り1500円 当日2000円 主催 大東市教育委員会
問、大東市文化協会0720-73-0810 市立文化情報センター0720-71-1125

関西ハーモニカ連盟主催

第10回ハーモニカ祭り

参加者募集

事業部長 飛田 保雄

今年度の恒例の当連盟主催のハーモニカ祭りについて、詳細及び募集要項を、次のとおり決定いたしましたので、お知らせいたします。

ソロ演奏者として、あるいはアンサンブルのメンバーとして、あるいは又聴衆として奮ってご参加ください。

日時 9/10/24 日 開始時刻は12:00の予定

場所 大津市民会館

住所 520-0042 大津市島の関14-1

電話 077-525-1234 FAX 077-525-1788

最寄駅 JR大津 歩10、京阪浜大津 歩7、京阪島の関 歩3

主催 関西ハーモニカ連盟

問合せ、申込み等 事業部長 飛田保雄 0774 41-6568 FAX 0774 43-3789

演奏参加要領

申込締切 99年7月30日(金) 負担金の振り込み及び申込書到着による

申込方法

お近くの郵便局から郵便振替用紙により下記の当連盟の口座に負担金を振り込みください。振り込みしたあと、その受領書のコピーを貼付して、申込書に詳細を記入し、事業部長飛田保雄あて郵送又はFAXください。

曲名、作曲者名、編曲者名、所要時間、楽器の種類、伴奏の有無とその種類、マイクはスタンドか手持ちか、楽譜スタンドは必要か等、必ず記入ください。

漢字にはふり仮名を、外国名は、曲名人名共必ずカタカナに直して記入ください。その他、出演順序、設備等の希望事項があれば記入ください。

文書や口頭による申し込みは原則として受け付けられません。

振込先 郵便振替口座 00950-6-115527 加入者名 関西ハーモニカ連盟

申込書送付先 611-0031宇治市広野町寺山17-79 飛田 保雄 FAX 0774 43-3789

演奏時間及び出演者分担金(経費に見合うように、今回改正しました。)

ソロ	1曲5分以内	6000円
デュオ	6分以内	8000円
3人以上6人以下のアンサンブル	8分以内	15000円
7人以上のアンサンブル	8分以内	20000円

アンサンブルの人数には指揮者、ピアノ、ドラムス等の伴奏者の人数を含みます。

広告募集

ハーモニカ普及発展のために、及び開催費用を賄うため、今回より業者以外に個人や団体の広告を掲載することとしました。個人、教室、演奏団体等の広告に利用ください。費用は、B5判を縦5段、横2分の1に分けて、1単位2500円とします。そのままコピーして掲載できるように実物大の原稿を作成し、上の申込方法と同様の方法で申してください。

↓ここに掲載する例は、2単位のものです。5000円です。↓

クロマチックハーモニカに関することなら、なんでもどうぞ！
修理、関連グッズの販売、CD輸入販売、演奏、指導

吉村 則次 (当連盟、副理事長兼編集局長)
(大東市公民館、堺市金岡公民館教室講師、堺ソフィアアンサンブル主宰)

591-8008 堺市東浅香山町3-104-5-201

電話及びFAX 0722 51-9398

郵便振替口座 00990-6-96827 加入者名 吉村則次

後藤貞男氏ら3名に「日本ハーモニカ賞」 事務局 長

99/4/25に東京で開催された全日本ハーモニカ連盟総会において、日本ハーモニカ賞の授与式があり、当連盟の後藤貞男氏、水井一雄氏、中川敬一氏の3名に、同賞が授与された。

また、次のかたがたが参与、理事及び幹事に選任された。

◎参与

酒井涼爾

◎理事

入江章次、織田太郎、岡村貞彦、金川一、楠陽児、後藤貞男、吹上晴彦、村田潤、村上浩一、山村信彦、和谷篤樹 以上11名

◎幹事

小林由美子



日本ハーモニカ賞受賞の後藤貞男氏と水井一雄氏
なお中川敬一氏は授与式に欠席した。

第1回 南大阪ハーモニカ祭り

最近堺市を中心にハーモニカ教室が7カ所にもなり、ハーモニカ愛好者が急激に増えて来ました。吉村則次及び榎崎義男を講師として、日ごろ練習を重ねております。

その成果を皆様にご披露したく、次のとおり小規模ですが第1回の南大阪祭りを開催することとなりました。皆様応援ください。

日時 99/9/12(日) 13:30~16:30 3hrs

場所 590-0014堺市田出井町2-1 サンスクエア堺B棟地下1階「ギャラリー」

電話 0722-22-3561 JR堺市駅西北側徒歩5分

出演者

堺ソフィア・ハーモニカ・アンサンブル

榎崎義男ハーモニカ教室(5カ所)の生徒

吉村則次堺市金岡公民館ハーモニカ教室の生徒

榎崎義男

吉村則次

南大阪在住の愛好者

その他ゲスト多数



世話役 吉村則次(電話及びFAX 0722 51-9398)、榎崎義男(電話&FAX 0722-93-2862)

写真ページ



99/2/3 上本洋氏が関西テレビ「痛快エブリディ」に出演



99/2/13 伊丹市ラスターホールにて
西田幸司氏指導のハーモニカ教室が出演



シグモンド・グローヴン氏



大阪府立盲学校で演奏
99/2/13 住吉区老人福祉センターH教室



ライオンズの記念式典で演奏 関西日ポップス
99/2/15ニュー・オータニ・ホテルにて





■シグモンド・グローヴン&崎元譲
ハーモニカ・ファンタスティック・デュオ
●4/29(木・祝) 14:00 アンサンブルホールムラタ

左から姉川敏彦、崎元譲、シグモンド・グローヴン



■シグモンド・グローヴン&崎元譲
ハーモニカ・ファンタスティック・デュオ
●4/29(木・祝) 14:00 アンサンブルホールムラタ

1999/4/24

ハーモニカ コンサート



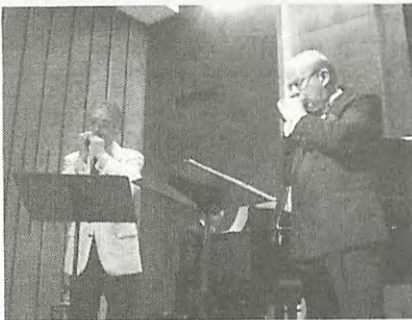
姉川先生



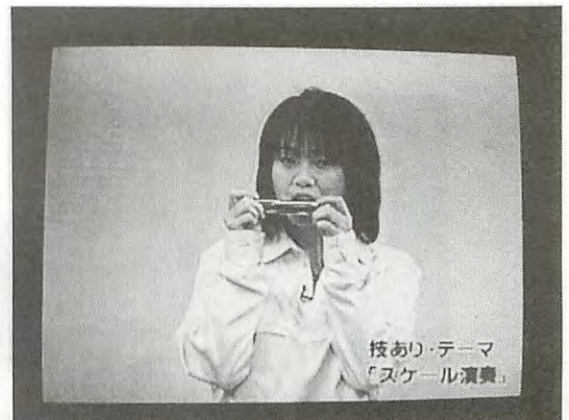
シグモンド・グローヴン さん



大津市フィガロホールにて、左から
シグモンド・グローヴン、姉川敏彦
アントン・ヴァーガート(ピアノ)



フィガロホールにて



技あり・テーマ
「スケール演奏」

99/4/28 関西テレビ「笑っていいとも」から
柳川 優子(神奈川県)



99/4/28 関西テレビ「笑っていいとも」から
山田 花子



この素晴らしきハーモニカの世界
99/5/9 伊丹市立工芸センター
ハーモニクス大阪



99/4/28 関西テレビ「笑っていいとも」から
松村 邦弘



この素晴らしきハーモニカの世界
99/5/9 伊丹市立工芸センター
人気があった各種ハーモニカの展示



この素晴らしきハーモニカの世界
99/5/9 伊丹市立工芸センター
陶磁器の展示の中で演奏



この素晴らしきハーモニカの世界
99/5/9 伊丹市立工芸センター
ハーモニクス大阪の演奏



西田幸司の演奏



洛水ハーモニカ同好会
99/4/10 びわ湖パレイ桜まつりに出演



この素晴らしきハーモニカの世界
99/5/9 伊丹市立工芸センター
ハーモニカの展示



洛水ハーモニカ同好会
99/4/4 第18回合唱フェスティバルinびわこに出演

レターボックス

---皆さんからのお便り---

99-3-27

東北H連盟会員数130

関西ハモ連、会報第139号の御恵送を賜り誠に有り難うございました。

関西ハモ連皆様の素晴らしい活動状況や、ハーモニカに関する諸々の参考記事を、具に拝読させて頂き、非常に良い勉強になりました。改めて深く感謝申し上げますと共に、貴連盟の今後とも益々のご発展の程をお祈り申し上げます。関連皆様にも、呉々も宜しくお伝えの程お願い申し上げます。(一部省略)

東北ハーモニカ連盟 佐藤 武男

東北連盟の会報「みちのくハーモニカ通信」No.33(B4判裏表)贈呈ありました。

同誌によると、同連盟の状況は次のとおり。

東北連盟(本部山形市?)会員数130、会費260,000(一人2,000)

会長佐藤武男、事務局長石黒辰雄、理事長小谷部

本年の連盟のHフェスティバル予定、99/9/5福島県文化センター

傘下に?山形H協会、福島県協会(16名、結成10周年、会長木村正義)、秋田県協会等がある様子。連盟主催のイベントには、会員外の出場は認めない(会員の発表の機会を確保するため)旨決議された模様。

99-4-2

群馬、H会員200!!

群馬ハーモニカ音楽友の会

群馬H音楽友の会より会報「ふれあい」第3号が送られて来ました。会員は200を超える(当関西H連盟でも223なのに)とのことで、多くの愛好者団体があるようです。

1月17日の「あつぎハーモニカコンサート」には、92名も聞きに行ったそうで、組織的に活動されていることが伺えます。

編集局

99-4-3

大石昌美と行く

ハワイ・ハーモニカ・コンサート

というチラシをいただきました。6/18(金)出発6/23(水)帰国の6日間で費用は記載されておりません。

現地で、慰霊演奏、老人ホームでの演奏、日蓮宗別院での演奏が生まれ、ハワイの日本語放送の録音も予定されているようです。

希望者は、03-5372-2672大石、または03-3295-4111ベストワールド株式会社へ

(もう済んだことですね)編集局

東京で SALON DE ENKA 結成

東京で、演歌の好きなハーモニカ愛好者が集まって SALON DE ENKA が結成されました。事務局長 佐藤昭さん。会員は50名を超えました。関西でも入会いかがですか。演歌専門のアンサンブル Modern ENKA Quartet(MEQ) も誕生しました。

齋藤 壽孝

黄石口琴Trio来日

11月18～25に、台湾の「黄石口琴Trio」を日本で呼んでいます。11/23(祭)には宇治にも行きます。ご協力ください。

齋藤 壽孝

「荒城の月」を削除するな

会報4月号p39に「荒城の月」のことが出ていたので、じっとしておれなくて、下記のような投稿をしました。投稿文の最後は「誰か一委員の発送だろう、その人の意見を承りたい、その上で改めて反論する」という、もっと厳しい表現にしましたが、新聞社からの電話でこのような柔らかくなりました。

2月に大分県竹田に行きました。市をあげて、反対運動が起こっています。マス・コミがもっと強く取り上げたらよいと思います。

4月18日夜、熊本きっての名門校済々黉のコーラスの発表会によばれ、特別出演としてハーモニカを2曲演奏しました。90歳をすぎても活動はやめません。

徳永 至 (福岡県大川市)

99/4/17朝日新聞朝刊「声」

「荒城の月」の除外は暴挙だ
 大学名誉教授 徳永 至
 (福岡県大川市 91歳)
 新しい学習指導要領によって「荒城の月」が音楽の教科書から除かれるかも知れぬ、とのニュースを耳にした。すでに反対の動きもあるやに聞き及ぶ。
 日本を代表する名曲。歌詞は仏教の根本原理を教示し、曲は単純さの中に、えも言われぬ感銘を与える。この名曲をなぜ除外せんとするのか。「もののおわれ」を感じ始める多感で微妙な青少年期の心の教育を正しく豊かに行うためのこの曲の価値は、素人の私にさえ直感できる。
 戦後教育の最大の欠陥

は、一種の道具にすぎぬ知識のみに偏って、豊かな人間性を育てる非合理文化、芸術、宗教などを軽視、無視したことで、その結果が現代の世相である。美しい音楽は心身を浄化する。すでに医療の世界では音楽療法や心理療法が実施されている。日本の美を無視し、時勢に逆行するような論が出るのはなぜか。
 そんな発想をした関係者のご意見、理由をこの欄で承りたい。

「荒城の月」については
 p55の関連記事も参照

大阪府立盲学校で大爆笑の演奏

大阪市立住吉区老人福祉センターハーモニカ教室

代表 水野 昭三

去る2月13日は、第2土曜日で、大阪府立盲学校も休みですが、学校開放の一環として、「P.T.A.親子の日＝音楽と朗読会＝」が音楽室で午前10時から11時40分までの予定で行われました。音楽の部として、30分間程ハーモニカの合奏を依頼されました。当日までに、担当の先生と事前にハーモニカに対する関心や曲目について、打ち合わせをしました。

現在、学校でハーモニカの代わりに鍵盤ハーモニカを教えているため、ハーモニカに触ったこともなく、ハーモニカの合奏も聞いたことがないので、子供さん達にとっては、関心があるとのことでした。演奏曲は「手拍子」「歌う」「聞く」の内容を取り入れ、音楽の教科書から選ぶことにしました。

当日の参加者は、幼稚部、小学部、中学部、高等部からの希望者17名と、付き添いの父母、先生方、P.T.A.の方で43名、我が出演者は18名でした。

〔当日の演奏曲〕

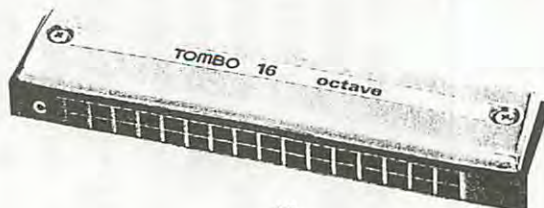
演奏曲	内容
①手をたたきましょう	手拍子
②ぶんぶんぶん	歌う
③ぞうさん	歌う
④森のくまさん	歌う
⑤鉄腕アトム	(教科書外) 歌う
⑥ドレミの歌	歌う
⑦四季の歌メドレー ・春の小川 ・茶つみ ・もみじ ・たきび	歌う 聞く
⑧荒城の月	聞く
⑨ふるさと	聞く
⑩エーデルワイス	聞く
⑪蛍の光	手拍子・歌う

演奏の前に次の2点を説明しました。

- ①ひとりひとりに複音21穴ハーモニカに触らせ、演奏に使うハーモニカと同じ大きさであること。
- ②「サン・ハイ」の合図で演奏が始まること。

演奏開始。「1曲目は『手をたたきましょう』と言う曲です。私がサン・ハイと言ったら、タン・タン・タン・・・とハーモニカに合わせて手を打って下さい。ハーモニカに合わなかったら、ハーモニカを吹いている人が下手だと言うことです。」の第一声で大爆笑。②③④⑤番の歌唱曲では、音楽室一杯に歌声が響きわたりました。「次は『ドレミの歌』です。この歌も一緒に歌って下さい。それでは行きますよ。」と言った瞬間、子供さんの中から「サン・ハイ」という合図の上がか

かり、これまた大爆笑。『四季の歌メドレー』『たきび』のところは、オクターブハーモニカを吹いたり、三度奏法で吹いたりして『たきび』の雰囲気表現し、音色を聞いてもらいました。この演奏法はなかなか好評でした。『荒城の月』は4拍子⇒3拍子⇒4拍子と変化をつけて演奏したため、一段と大きな拍手が起こりました。曲は⑩⑪番と進み、最後の『蛍の光』では手拍子と大合唱になり、爆笑と拍手のうちに、予定を10分超過して、演奏を終えました。



'99の幕開けはライオンズの記念式典で (KHP 演奏報告)

昨年より関西ハーモニカポップス合奏団と改称したKHPですが、今年最初の演奏会は大阪大手前ライオンズクラブのCN35周年記念式典('99/2/15)でのアトラクションプログラムでした。大阪城の表玄関地域をテリトリーとする名門クラブの35周年記念という機会にご招待頂けたことは、私たちにとって希有の晴れ舞台であり光栄に思うと同時に感激の極みでありました。160有余のそうそうたる会員諸氏を前にして、ある時はクラブメンバーの有志と協演しあるときは上海から来日中のプロ歌手の伴奏をさせてもらい、またハーモニカのデモンストレーションを交えて約1時間の演奏を致しました。大阪ホテルニューオータニという立派な祝宴会場に舞台を特設し、歌あり新舞踊ありまたKHP客員になられた吉森大先輩のハーモニカ独奏ありというバラエティ豊かな構成も、KHPの酒井会長がこの大会の委員長を務められたればこそと強く感じました。パーティープログラムには出演者のプロフィール紹介を掲載いただき、またメンバーの皆様からも久しぶりのハーモニカの音に感概を新たにしたり大変ご好評をいただきました。その意味でもハーモニカの普及に役立ったものと思いました。

当日のプログラムを下記して、演奏活動の報告と致します(敬称略)。

アトラクション	(構成) 酒井 涼爾	
新舞踊	「川」 (舞踊) 藤間 瑛月 (歌) L兼重 義之	
歌	「喜びも励ましも幾年月」 (歌) L島田 庸宏	
ハーモニカ独奏	変奏曲「幻想の荒城の月」	吉森 正隆
中国歌曲	「何日君再来」 (歌) 凌 淑倩	
	「夜 来 香」	
ハーモニカアンサンブル	「夜霧のしのび逢い」	L酒井 他 KHPメンバ-
ハーモニカ合奏	「グラナダ」	関西ハーモニカ合奏団
	「アルハンブラの思い出」	
	「ラデツキー行進曲」	

ラデツキー行進曲では会場のみなさんに手拍子で参加していただきました。

音響調整は会友の吉村 則次氏にご協力いただきました。

天候に恵まれ暖かだった春の宵を、豪華な雰囲気の中で初演奏の機会にさせていただきました。ライオンズの皆様に心から御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。(文責 大石)

だんご3兄弟 複音ソロ楽譜及び四重奏楽譜

3月に大ヒットした「だんご3兄弟」の複音ソロ楽譜(まなかかん編曲、数字譜)及び四重奏楽譜(齋藤壽孝編曲、数字譜及び五線譜)を特別顧問齋藤壽孝氏からいただいております。また複音ソロ楽譜(数字譜)を研修部長の白鳥達夫氏からいただいております。希望者は、編集局あてお知らせください。

編 集 局

大東市で「この素晴らしい ハーモニカの世界」の講演と演奏

吉村 則次

昨年12月から、大阪府大東市の愛好者のお世話でクロマチックハーモニカ教室（自主サークル）を開いている関係から、同市の市立公民館から、ハーモニカに関する講演と演奏をしてほしいとの依頼があり、ハーモニカの普及発展拡大を目的として、2/16と2/23と2日間延べ4時間にわたり「この素晴らしいハーモニカ世界」と題して講演と演奏を行いました。

同市の公報により募集され、初日が定員一杯の50人あまり、2日目が30人余りの出席がありました。うわさを聞いて、大東市の住民以外の当連盟の会員も多く来られました。

演奏の間に次のようなテーマで話をしました。

- ◎素晴らしいハーモニカの世界（ハーモニカの種類、価格、歴史と現状、構造、特徴等）
- ◎ハーモニカの吹き方の基本（音の配列、クロマチックと複音の違い等）
- ◎ハーモニカと私とのかかわり、チェン・バー・ファンのこと、徳永延生氏のこと等
- ◎ハーモニカ教室はどういう風に進められているか
- ◎ハーモニカと健康

（音楽を演奏することにより喜びを感じ、それが健康に繋がる、楽譜を見て瞬時に行動に移すことは即ち頭を使うことにもなり、これが健康に繋がる、ハーモニカは吹奏楽器であり息を使うので、演奏するということは大きく深呼吸していることと同じことになり、酸素を人より多く吸収して健康に繋がる、ハーモニカを愛好することにより仲間に入っていき事ができて外にも出るようになる等々。また、現実に音楽療法としてハーモニカが使われているケース、呼吸器障害の患者にリハビリとしてハーモニカを使っている病院もあること等。）

事前には参加者がどういう希望を持っておられるか分からないので、演奏曲目はクラシックからジャズまで広いジャンルにわたって22曲を選択し、録音された伴奏を使って演奏しましたが、公民館が実施したアンケート回答によると、ほとんど全部の曲が好まれ、提出者のほとんどが、ハーモニカを習ってみたいという希望を出されたということが分かりました。

これにより、大東市においてさらにハーモニカ愛好者が増え、ハーモニカの普及発展に寄与したものと思ひ、うれしく思っております。

同市（人口13万人）在住の当連盟会員は、現在僅か2名ですが、会員もさらに増え、さらに演奏団体も生まれることを願っております。

今後もさらに自分の演奏技能に向上に努め、このような機会を捕らえてハーモニカのさらなる普及発展拡大に努力したいと思います。

アンケート回答 抜粋

（アンケートは最終日のみに行われ、最終日出席者30名のうち24名(80%)から回答がありました。非常に大きい回収率であった。回答者の年齢層は不詳）

◎ハーモニカを習ってみたい（アンケート回答者のほとんど全員）。しかし、とても私にはできそうにもありません。習ってみたい気はしますが、根気がなく続けられるかと思っ

ています。という回答も少しあり。

◎講演がむずかしかった（子供のかたの回答）（少し話題が「音楽」に入り過ぎたかも）

◎静かな語りかけでとても解りやすく、どの話もとても楽しいお話しでした。

◎どのお話も、先生の優しい暖かいお人柄がにじみ出ていて、難しいお話しも、とても解り易かったです。

◎若い頃からの先生の生き方、素朴で少年のような心に触れ感動した。一つの道を極めぬ人は素晴らしい。健康についても率直に語られ、心から共感を覚えた。

◎「頭は使った方が健康にいいので、消費税の計算、割り勘等簡単なことは卓上計算機に任せることなく自分で計算しよう」ということは、うなずけた。

◎感激しました。先生に感謝します。ありがとうございました。

◎ほんとたのしかったです。（同趣旨多数）

◎すぐく身近に感じていた楽器ではありませんでしたが、こんなに種類があり、またクロマチックの素晴らしい先生の演奏を聞かせていただき、小さなハーモニカの偉大な演奏力におどろきました。何も知らなかったのだなあと改めて思いました。どンドン、もっとたくさんの人々にハーモニカの良さを広めていただきたいと思います。

◎全体におもしろかったでしたが、ハーモニカと健康のお話し（朝比奈隆さんが90歳でお元気だとか）は特に興味ありました。

◎小学生の音楽の教材ぐらいにしか思っていませんでしたが、とても素晴らしいものですね。会社時代のご苦労の中、師を求められた話、頭を使おうという話、中学時代から英語を一生懸命勉強され「得」をされたという話、に興味を引きました。

◎こんなすばらしいお話しと演奏を無料で聞けましたこと、大変ありがとうございました。

◎演奏と話の組み合わせがユニークで面白い。

◎「ハーモニカを吹きたい」ということよりも、「まず音楽が好きである」ということが重要であるというお話しに打たれた。

◎少し話が重複さみ、演奏のほうにウエイトを置いてほしかった。レパートリーの広さ、暗譜力にすごいと感心しました。素晴らしい演奏を有り難う。

◎ハーモニカ録音物のコレクターとしての話、ニューヨークでチェンバーファンに習った25歳ころの話に興味を持った。

◎先生の外国旅行の話、ユニークに興味を持った。

◎吉村氏の趣味や自分の生きざま（第2の人生）の話が聞けて、素晴らしかった。ありがとうございました。またどこかで演奏を聞ける事を楽しみにしています。

興味を引いた曲目（得票順、アンケート回収数24）

8票、クワイ河マーチ、ムーンライト・セレナーデ、小さな花

7票、エーデルワイズ、屋根の上のバイオリン弾き

6票、精霊流し

5票、ムーン・リバー、見上げてごらん夜の星を、白鳥

4票、日本の唱歌メドレー、シチリエンヌ（フォーレ）、インドの歌

3票、ブルーゼット、無縁坂、ものけ姫、愛のあいさつ、シチリアーノ（パッハ）

2票以下、川の流れのように、夜桜お七、愛燦々、ホール・ニュー・ワールド

結局、演奏した22曲のうち21曲が挙げられました。

※ハーモニカカレンダーに記載のとおり、6/25（金）同地で木谷悦子/徳永延生演奏会が開かれます。同地でさらにハーモニカ熱が上がるものと思います。

クラインヴァルトウ カルテット 活動報告と今後の予定

- 平成11年3月 7日 北大路ビブレ
 3月13日 北大路いまみやホール
 4月初旬 各教室 開講デモ演奏 5教室
 6月13日 向日市音楽祭
 7月21日 京都 光淋閣
 8月 J E U G I Aフォーラム コンサート
 9月11日 エンゼル発表会(京都)
 10月24日 関西ハーモニカ祭り(大津市)
 11月23日 宇治ハーモニカスクール10周年記念コンサート
 12月 クリスマス ミニコンサート(大東市)

代表者 吉見 治

ライオンズクラブ機関誌に ハーモニカ教室が掲載

大阪府のライオンズクラブ335-B地区の機関誌である「ゆうあい」181号に、下記のとおり大東市のハーモニカ教室が紹介されました。これにより大阪府下の各ライオンズクラブの会員にも、大東市でライオンズクラブ主催のハーモニカ教室が開催されていることが知られることになりましたので、今後ハーモニカ教室が拡大することが期待されます。

大東ロータスライオンズクラブ

クロマチックハーモニカ教室を開催

クラブ設立当初から地域の弱者である「身体障害者」に目を向けてきた。1998年12月から通年の予定で大東市公民館サーティホール3Fの視聴覚教室に於いてどこでも誰でも出来る「初級クロマチックハーモニカ教室」を毎月第2、第4(金)PM7:00~9:00に開催している。講師には関西ハーモニカ連盟副理事長吉村則次氏を迎え「この素晴らしいハーモニカの世界」をご指導頂いており、参加者は地域の障害者、高齢者を含め25名。若者も地域社会の参加を…と呼び掛けたところ多くの人たちが応募し熱心に通われている。事前に無料ハーモニカコンサートを指導講師により開催していただき、その演奏に大変感動した。「遠くの大きな光を追うより近くの小さな

灯をともし」との考えにより高齢化社会や障害を持つ人と共に若者の地域社会への参加を全体で考えようという試みである。「地域社会によく理解されていないライオンズクラブ!!地域に根差した活動を重要視することが必要」として住民と共に歩むクラブづくりに励んでいる。

林 一義



ハーモニカ教室

この素晴らしきハーモニカの世界 演奏会と展示を伊丹市で開催！

編 集 局

ハーモニカ及びその楽譜を含めた資料をいかにして収集し保存・展示するかについて、大石喜一郎組織部長が音楽大学等関係先と打ち合わせしている過程で、伊丹市立工芸センターを訪問する機会を得て、理事長、吉村則次副理事長、飛田保雄事業部長、大石喜一郎組織部長、西田幸司理事の5人が出向いて同館長と打ち合わせた結果、次のとおり連盟として演奏会及びハーモニカ展示を行うことができました。

170名を超える来場者があり、1時間半にわたり演奏及びハーモニカの展示等を行いました。（写真参照）

日 時 99-5-9（日） 14:00～15:00
場 所 伊丹市立工芸センター 664-0895伊丹市宮ノ前2-5-28
演奏者

伊丹市内の公共施設でハーモニカ教室を開いているクロマチックの吉村則次氏及び複音の西田幸司氏、さらにアンサンブルとしては、過去の西日本コンテスト優勝者から選ぶこととし、96年のアンサンブル部門第1位の「ハーモニクス大阪」に決定しました。

プログラム

- ①吉村 則次（クロマチック・ハーモニカ）
「屋根の上のバイオリン弾き」から「人生に」、日本の四季（メドレー）
ムーンライト・セレナーデ、もののけ姫
- ②西田 幸司（複音ハーモニカ）
荒城の月幻想曲、戦友に捧げる涙の軍歌、出船夜想曲、赤とんぼに寄せて
- ③ハーモニクス大阪（カルテット）
植生の宿、月の砂漠、青い山脈、小雨降る径、峠のわが家

展 示

吉村則次氏、大石喜一郎氏の所蔵品の提供及び鈴木楽器の協力を得て、約100点を展示し、来場者の大きな興味を引きました。演奏会終了後ハーモニカに関する質疑応答を行いました。

ハーモニカの宣伝

ハーモニカ愛好者拡大のために、ロビーで当連盟の入会勧誘、ハーモニカ各団体の説明、最近のハーモニカコンサートの宣伝を行いました。

F Mで放送

この演奏会の模様は、翌日10日、同地のFM放送「FMハッピーいたみ」で放送された。

池田利男氏（当連盟会員、伊丹市のアカシア楽器社長）は、このコンサートの案内を自分で作成し、ハーモニカ愛好者50名に送っていただきました。また「FMいたみ」放送で案内をしていただきました。

若葉風 韻音の響き 堂に満つ

□MAC・ITAMI ミニコンサート□ —この素晴らしきハーモニカの世界—
＝ハーモニカ コンサート & 展示の報告＝

'99/5/10 大石 喜一郎

去る 5月9日(日) 14:00より伊丹市立工芸センターにおいて同所の主催で掲題のイベントが行われた。思いがけないキッカケから始まった企画ではあったが、センターの皆さんの行き届いた PR 活動のおかげで、大成功の裡に終わりましたので、ご報告いたします。

話の始めは、連盟会員の収集品等について保管展示してもらえる施設探しであったが、3月に同所熊野館長と会談しているうちに、同所は工芸品の企画展示(販売を含む)と教室活動の場でありハーモニカの収集展示の趣旨にはなじまないことがわかった。ただ話の途中で、同所では隔月にコンサートを開いていることがわかったので、ハーモニカコンサートでご協力できないかのご相談申し上げたところ、大いに賛同いただき今回のイベントが実現した。今回は関西ハーモニカ連盟として実施する事であり、通例のコンサートとは趣を変えて音楽の演奏だけにとどまらず、ハーモニカの楽器と関連事項の展示も行うことにした。

芸術的工芸作品の展示・鑑賞の場であるから演奏の時間も約1時間という制約のあるなかでかつ連盟の行事という観点からも単一のリサイタルとはひと味違うものにしたい気持ちから、演奏は吉村さんのクロマチック(MD伴奏によるシングルトーンの演奏)・西田さんの複音(日本の伝統的無伴奏演奏)そして宇佐美さんのグループ(ハモックス大阪)の合奏というハーモニカの代表的な演奏スタイルを網羅したコンパクトコンサートに仕立て、同時にカットモデルや構造分解品を含む大小さまざまなハーモニカの展示(約100本)と更に公共的な性格を有するハーモニカ団体(当連盟を始め7団体)の概要紹介パネルまで、盛り沢山な内容になった。

急な話であったので連盟会報を通じて会員へ知らせる間が無く、伊丹市の広報を主なPR手段としたので、聴衆の集まりには若干の危惧もあったが、実際には午前中からお出でになった方も有り約180名の大盛会になった(ちなみにこれは同センターのイベント1日入場者数の新記録だそうである)。

お出でになった皆さんの感想は「懐かしかった」「いろいろなことが思い出されて涙が出てきた」「あんな素晴らしい音が出るなんて…」「私もハーモニカをやりたい」「あんなハーモニカがほしい」「教室情報を教えて…」etc. 出演いただいた皆様のご協力・データや展示品をご提供下さったメーカさん、何よりも宇佐美さんの音響調整の素晴らしさ、そして忙しい中を荷物運びから展示の内容説明までしてくれた仲村理事長など皆様のお陰で順調に進行しました。こんなにも素晴らしい音を聞かせてくれた方々そしてこの季節にふさわしい感動を沢山の皆さんと分かち合えた感激、誠に至福のひとつときでした。

市立の施設という堅苦しいイメージは全然感じさせない、それどころかサービス精神の横溢した、熊野館長始め職員の皆さんの対応も非常に有り難く、美しい施設の印象と共に忘れがたいものがありました。この温かさが短時間コンサートを成功させてくれた原動力だと思います。これをご縁に伊丹市にハーモニカファンが増えることを期待したいと思います。

お世話になった皆様 本当に有り難うございました。



**Chromatic
Harmonicas**

西宮器楽教室

“ハモニ館”

- ハーモニカ（複音・クロマチック）
- ピアノ ○ マリンバ ○ 打楽器
- 楽典（ソルフェージュ）
- 幼稚園、保育園 指導者コース

誰もが一度は手にしたハーモニカ、やさしい童謡からポピュラー、クラシックまで 独奏、合奏にそれぞれ楽しめます。

初めての方でも、楽典 ソルフェージュ を並行して基本からわかりやすく、丁寧に教えます。

西宮市千歳町7-42（阪急 夙川駅 より 徒歩 5分）



TEL }
FAX } 0798-22-1844（小林）

コンサート発表会等の
PAも承ります。
（録音含む）

**Diatonic
Harmonicas**

-20-

音の美しさに堪能

グローヴン・崎元讓コンサート、99/4/29京都コンサートホール

吉村 則次

4/23の東京カザルスホールでのコンサートは、客の入りが良くなく寂しいコンサートであったと聞いていたので心配していたが、京都のはほぼ満杯であり、私ごとのように非常にうれしかった。

主催者の京都市及び京都市音楽芸術振興財団並びに会場の京都コンサートホール及び我々ハーモニカ愛好者の努力によるものと思う。私が連れて行ったクロマチック教室の生徒22名も観客動員に役に立ったこともうれしかった。私の知り合いの鳥根県米子市のハーモニカのかたも自分の生徒を連れて、はるばる来られていた。

グローヴンの演奏を生で聞くのは、95年の横浜の世界大会以来2度目である。

素人愛好家が、このような素晴らしいかたの演奏の感想を述べるのは、失礼になるかも知れないが、次のとおり感じたことを述べたいと思う（私の個人的な偏った感想である）。

グローヴンは、ほとんど身体を動かさず直立で演奏されていた。自分のソロのときには、楽譜を見てなかった。今回のみならず、ビデオで見る他の場所でのコンサートでも同じであった。私はこれを見習いたいと思う。デュエットのとき楽譜を見ていたのは、やむを得ないことと思う。職業的になるほど、外部からの要求により、指定された曲を指定された楽譜により、練習時間を与えられずに演奏をしなければならないので、暗譜で演奏することはむずかしいことだと思う。しかし、アマチュアは、自分の好みで選んだ曲を、十分な練習を行った上で演奏できるので（演奏したくなかったら演奏しなくてもいい）、譜面は見るべきではないと、私は思っている。

見る側にとっても、楽譜スタンドで演奏者が隠れないのは気持ちいい。

音のきれいなことに感動した。グローヴン、崎元讓氏二人とも同じ音で、デュエットの場合、目を閉じて聞いていると、どちらがどちらか分からないようであった。同じ特製のポール(Polle)・ハーモニカを使い、同じトミー・ライリーに師事されたかたということがよく分かった。デュエットの場合には、特に二人共同音にするよう気をつけておられたのだろうか。ハーモニカは吹き吸いがあるので、我々が演奏すると、どうしても音の途切れが耳障りになるが、お二人のスムーズな音には感心させられた。

手のカバーであるが、なぜあそこまでハーモニカを完全に被せてしまわれるのか。音を柔らかく（メロトーン）しようとしているのは分かるが、音が中にこもってしまい、また音が小さくなる。グローヴンは臨機応変に曲のフレーズ毎に、あけたり閉めたりしていたが、多くは被せたままであった。

マイクの使用について、いつも問題にされるが、演奏者それぞれの主義主張、それに会場の制約や主催者の要望等もあるようで、今回もマイクは使われてなかった。ピアノは、カバ

ーをあけて伴奏をされていた。最初の出だしの曲（ワルター：デュエットーノ）では、二人の伴奏なしのデュオで始まり、途中からピアノが入って来たが、そのときのピアノの音の大きさにびっくりした。

後ろの方の席に座っていた私には、ハーモニカがピアノの音に比べて小さくしか聞こえなかったのが残念であった。会場が、いいホール（床にカーペットが張ってなくて、木のまま、シートの背もたれも木のまま＝経費節減のためではない）なのでハーモニカの音を大きくするという必要はなくても、ピアノとのバランスを取るという意味で、音の変化をとまなわないうように、少し大きくして欲しかった。グローヴンは、他のビデオによると、他のもっと小さな会場でもマイクを使われていることがあるので、グローヴン氏がマイクを使わない主義ということではないと思う。

ビブラートも、人それぞれ出し方が異なっており、100人いれば100人それぞれ振幅（ピッチ及び強弱の）も音色も異なる。兩人とも主に手のひらによるビブラートであった。

お二人の師匠であるトミーライリーは、息によるビブラートも使われるが、なぜだろうかと思う。それぞれ主義主張があるものと思う。

このように、クロマチック・ハーモニカ2本によるデュエットを聞く機会は、アマチュア演奏を除いて、国内外共全くと言っていいほどない。今回は非常に貴重な経験であった。ソロよりもデュエットの方が華やかさがあって良かったと思う。

アンコールの「バルセンティーノ」と「1771」のデュオは特に良かった。

会場で買ったグローヴンのCD「ハーモニカ・アルバム」も、ポピュラーな映画音楽が多く入れられており良かった。私の教室でも人気があったので、そのうちでも易しいものを譜面に直して、「グローヴンと一緒に」演奏させたいと思っている。

日本におそらく二度と来られることはないと思っていた演奏者が、我々の前に姿を見せてくれたことを、呼ばせた人、呼んだ人に感謝したいと思う。

ハーモニカ博物館にあなたのハーモニカを 吉村 則次

ハーモニカの博物館というと、ドイツのトロシゲンホーナー・ハーモニカ博物館だけと思っておりましたが、もう一つ出来ておりました。

オランダの「デ・ミュージック・パレル・オルガン博物館」です。（パレルとは「ふいご」のことで、ハーモニカやアコーディオンを含んでいます。）

そこには、「寄贈者 N. Yoshimura, Osaka, Japan」というカードが付いたDマイナーとD#マイナーの複音ハーモニカが飾られているはずですよ。

外国の博物館に行って、寄贈者としてあなたの名前が付いているハーモニカを見るって、わくわくすることではないでしょうか。

別に古いものでなくてもいいのです。もし寄贈しようというかたは私まで。送料実費はご負担いただきます。

念のため、日本に公立及び大学付属の楽器博物館がいくつかありますが、どこもハーモニカは受け取ってくれません。どうでもいいことですが、私はトロシゲンホーナー博物館にトンボの丸型ミニ・ハーモニカを寄贈しました。

我が心のハーモニカとの再会

入江章次

ゴールデンウィークの初日、4月29日京都コンサートホールで、素晴らしいハーモニカ・コンサートが行なわれた。シグムンド・グローヴェンと崎元謙のハーモニカデュオコンサートだ。崎元謙は関西で何度も演奏会を行なっているが、グローヴェンの生演奏を再び聴けるとは夢にも思わなかった。

世界ハーモニカ・フェスティバル '95（横浜）以来で、彼のCDは3枚しか持っていないが、レコードだったらとくに擦り切れるくらい聴いている。彼の音楽が好きなのだ。音楽性がとても豊かで、私の知る限りでは最も優雅な演奏をする。その上情熱的で、とても歯切がよく、それでいて雄大で、彼ほどオーケストラとの共演の似合う人もいない。私の友人は、彼の「ビギンザビギン」を聴いてすっかり虜となり、演奏会で「ビギンザビギン」を演奏した程で、一度聴いたら皆んなそうになってしまう。私も横浜で聴いた途端に虜となり、NHKに和谷泰扶、ラリーアドラー、チェンバーハンも含めて、何故こんな素晴らしいプレーヤーをTVで紹介しないのか、大苦言を呈したが、後の祭りだった。昨日の演奏会には先輩の方々が大勢来られていた。多かれ少なかれ虜になられた方々かなと思ったが、若い人達もかなり入っていた。

京都コンサートホールの大ホールは、当初音響効果の良くないホールだったが、デザイナーに内緒で改装してから良くなった様だ。このアンサンブルホール（300席弱）は、ハーモニカの演奏会にはもってこいのホールだ。残響が短く、1秒弱ではないかと思った。したがってハーモニカがとても明瞭に聞えた。その上彼の独奏（ピアノ伴奏つき）のときは私の真ん前で、私は彼に一番近い場所で聴けた。ピアノとの音のバランスも最高で、滅多にあんな良い音で聴けるものではない。だが舞台の壁面はメタリックな多孔吸音ボードで、その上ダークグレーで、あまり感じの良いホールではなく、ライブハウスの感じさえした。慣れればこれも良いのかも知れない。珍しいことに舞台の床材が縦に張っており、その分音が良く響いているはずだ（迷信の様だが本当）。とすると設計者は音楽に相当こだわりを持っていたのだろう。

ハーモニカの音色は私なんかが使っているものの、数拾倍の高価なものだけあって根本的に違う素晴らしい音色だ。しかし、時としてハンドカバーをするが、その時の音色はどうも頂けない。まるで緞帳がすーっと降りてきたような感じになってしまって、音が籠り音楽の流れがとぎれる感じになってしまう。

最新版のCD（GRAPPA MGRCD4151）を1枚買ってきたが、バックの音は良いのに、肝心のハーモニカの音が、べールどころか、毛布でも被ったような音でさっぱりだ。マスターリング屋さんのせいだろう。リバーブも強く、昨日の生演奏のほうが余程明瞭に聞こえた。しかし、あの音色はいつまでも脳裏から離れることは無い。

グローヴェンは、頭の先はスキンヘッドで、後頭部のブロンドがかった白髪も、ウエーブのかかった眉もとても美しく、爪先はモスト・ビューティフルなエナメル靴だった。その中間も押して知るべし。これが超一流のプロだなあと思った。研ぎすました日本刀のように魂の入ったハーモニカの音色は、何度聴いても美しい。

今年はハーモニカ・コンサートが多く、9月3日ザ・フェニックス・ホールの「和谷泰扶」は、良い音楽を、良い音で聴けるものと、今から楽しみにしている。

「ハーモニカは楽器の王子さま」

Fine.

ベルディのオペラを
グローヴンと一緒に吹こう

吉村 則次

この楽譜は、「椿姫」で有名なベルディのオペラ「運命の力」(La Forza del Destino)からの曲です。

すでにお買い求めになったかたも多いと思いますが、今回来日したグローヴンの最新のCD「ハーモニカ・アルバム」の中に入れておられます。

この曲は、1986年ごろのイタリア映画「愛と宿命の泉」(原題は、この曲の名前と同じのフロレット家のジャン「Jean de Florette, Manon des Sources」でした。)の中で、トゥーツ・シールマンズがハーモニカで吹いていたもので、その後日本でCDも出ました。あのイブ・モンタンも出ていました。

今回、CDでグローヴンが吹いていましたので、採譜しました。メロディは、シャープもフラットもない簡単なものです。CDと一緒に吹いてみましょう。クロマチックで吹かれてはいますが、C調の複音1本でも行けます。

ベルディのオペラからの曲を、CDに合わせてグローヴンと一緒に吹く、なんてことは素晴らしいことではないでしょうか。

JEAN DE FLORETTE, フロレット家のジャン

グローヴンのCD「ハーモニカ・アルバム」Grappa MGRCD4151より採譜

シールマンズが吹いていたのは「愛と宿命の泉」1988年ごろ発売の日本キングレコードのCD K32Y 4067(絶版かと思われます)。シールマンズはこの映画で、ほかに3曲ハーモニカで吹いています。

フロレット家のジャン (映画「愛と宿命の泉」より)
原曲は、ジュゼッペ・ヴェルディ作曲、オペラ「運命の力」
(グローヴン及びシールマンズが吹いています)



シグモンド氏とデュオを

—シグモンド・グローヴン、ハーモニカコンサート（大津公演）あれこれ—

99/4/24 7:00pm フィガロ・ホール

姉川 敏彦

淡海ハーモニカ・クラブ代表

（財）滋賀県文化振興事業団「文化広報」編集長

◎ことのはじまり

私は、仕事柄、完成間近いフィガロ・ホールを訪れた。客席数100という私立ホールであるが、その造りの良さに大変な驚きを感じた。マネージャー自身がフルート奏者でもあることから、海外まで出かけて街中の小ホールのことを学んで来て建てたとのこと。すっかりうれしくなると共に、大津市に「びわ湖ホール」に次ぐこんなにも良いホールが出来たことを誇らしくさえ思った。

片や四面舞台の全国屈指のホールなら、100席数で音響抜群の小ホールでアットホーム的な音楽会も誠に結構なことである。

『掌に乗る小宇宙』といわれるハーモニカで演奏会をしてみたいと話が弾んで行くうちに、ノルウェーの吟遊詩人、ハーモニカのシグモンド・グローヴン氏が来日し、このホールでの演奏会を希望していると聞き、この機を逃す手はないと相談にのることになった。

◎シグモンド氏も大喜びの「だんご3兄弟」

ほとんどの人がハーモニカといえば、あの哀愁をおびた懐かしい音色の複音ハーモニカを思っていること、今回のシグモンド氏はクロマチックであることを考慮し、解説を入れることになった。

ハーモニカ100年の簡単な歴史を振り返り、愉快的話題と演奏を折り込み、ハーモニカをより身近な楽器として見直してもらうことにし、15分間のステージを受け持った。

いよいよ当日、「ふるさと」「だんご3兄弟」の演奏を交えながらの肩の凝らないトークは好評であった。中でも今、日本中で大流行の「だんご3兄弟」はシグモンド氏も大喜びで大喝采を送ってくれた。

◎シグモンド氏とのデュオ実現

これまでにシグモンド氏のCDを入手していて、その美しい音色には驚いていたが、いよいよ演奏が始まった途端、透明感のある音色には一瞬自分の耳を疑った。まるで雷に打たれたような気がした。

会場もシーンと静まり返り、文字どおりあの小さなハーモニカから、宇宙のような広がりを持った芸術的な音の世界に引き込まれていった。

途中のインタビューの中で、4月29日の崎元譲氏とのデュオに先がけ、私と「ネリイ・ブライ」をやろうということになり、嬉しさ半分・光栄半分・不安半分で演奏することになった。

こんな日のために、日頃から練習を積んできたが思わぬチャンスに……前奏に引きつい

て1stパートの私、2ndパートの彼、優しくいたわるような心地よい音色に包まれて無事に演奏終了。

この日は、人生最良の記念日となった。

◎真似ること（模倣）から創造性が広がる

演奏会終了後、深夜までシグモンド氏と語り合ったことも、たいへん有意義であった。中でも、私のハーモニカ演奏についてアドバイスを受けたことは、何にも変えがたいものであった。

「Mr. 姉川は誰かにクロマチックを習っているのか。自分の音色に近いように思う。」と聞かれ、『学校の音楽教育に永年携わってきた経験から、まず真似る（模倣）ことから音楽の創造性や感性は培われ、磨かれ、音楽の世界は広がるという信念をもって指導してきたが、自分のハーモニカの世界にもそのように実践してきたこと』を話した。

「誰にも習っていないが、崎元譲氏・トミーライリーのCD全てを繰り返し聴き、そっくり真似るように練習している。」と答えたところ、「崎元も自分もトミー・ライリーという大先生に師事していた。だから、Mr. 姉川の音色も我々によく似ているのだ。音のルーツは同じだから同門と言えるね。」

私は天にも昇る思いであった。

◎今度はシグモンド氏を・・・

4月29日の京都とでのコンサートに出向いたことは当然のことである。CD 5種類全てを購入し、次ぎに逢うときには、シグモンド氏の演奏を足場にした、新しい私の音楽の世界を聴いてもらうよう約束を交わした。

◎ありがたいハーモニカ仲間へ感謝

翌日、写真と共にビデオテープが送られて来た。吉村則次副理事長からである。私がシグモンド氏に心酔していることを察して、昨夏イギリスで行われたトミーライリー／グローヴンマスタークラスのリサイタルとセミナーの様子を記録したものである。

こんなにも友達を想い、援助を惜しまない仲間。本当にハーモニカ仲間は有り難いものである。5月の連休中、時間の経つのもすっかり忘れて練習三昧いうまでもないことであった。

吉村則次副理事長、有り難いお心遣い感謝いたします。

私は、本年1月から連盟に入会させてもらい、総会・懇親会にも参加したが、やっぱりハーモニカ仲間はいいもんだということを実感している。

奈良の藤本氏をはじめ、名刺交換した多くの方々からコンサートの成功を祈る便りをいただいたし、田中祥雄事務局長がコンサートに来てくださったり有り難い支えをいただいた。

その他、楽譜やコンピュータ・フロッピーを送ってくださる大石氏や多くの方々、友人がどんどん増えて、かってない人生の喜びを味わっている。

今後は関西ハーモニカ連盟の発展とハーモニカ音楽の普及のために老体を鞭打ってがんばっていきたいものである。皆さん本当に有り難うございました。

（別ページの写真参照）

とっておきの話 [13]

21世紀のハーモニカを考える

関西ハーモニカ連盟 特別顧問 森本 恵夫

1999年4月25日(日)東京、お茶の水「ホテル聚楽」で、全日本ハーモニカ連盟主催による「ハーモニカ・フォーラム'99」が開かれ、全国から主だったハーモニカ関係者100余名が集まり、サミット・コンファレンスに引き続き、研修会、ディスカッション、記念パーティと、有意義な一日を過ごすことが出来た。

コンファレンスでは、フランスのラーブル氏が、今秋ダブルで開催される世界大会のPR、「日本ハーモニカ賞」表彰式、連盟規約改正など行われ、午後の研修会では、大場善一氏による音楽講座と、「21世紀のハーモニカを考える」というテーマでフリーディスカッションが持たれた。

ここでは、アドバイザーとして齋藤壽孝理事長、森本恵夫特別顧問、池田輝樹常任理事が当たり、熱心な討議がくり上げられた。

この内容を振り返ってみて、今後のハーモニカのあり方を皆さんとご一緒に考えてみたい。

問題点としては、ハーモニカ愛好者の老齢化があげられ、これを21世紀へ向けてどのような方法で層を上げて行かねばならないかが論議の焦点となった。

提起1 ハーモニカで食えるか？

つまり職業として成り立つようなハーモニカ界でなければ発展性は期待できない、ということらしい。

確かに、演奏家としては、演奏の場がたくさんあって、その収入で生活が成り立つことが望ましいし、また指導者であれば、愛好者に教える場がたくさんあり、その指導料で生活出来ることが前提であろう。

ところが、それを望む前に自己反省をしてみる必要がないだろうか。

というのは、ギャラのとれる演奏家が果たして何人いるだろうか。授業料のとれる力量を備えた指導者が果たして何人いるだろうか？

それを考えたとき、ハーモニカで食えるかという問題に対する答えは、おのずから出てくるのではなからうか。

提起2 複音ハーモニカの音配列が不規則で習得が困難だ。これが普及発展の大きな妨げになっている。

これはその通りで、演奏しても、指導しても、いやという程、音配列のチグハグは習得の意欲を減退させる。

しかし、これを無くす為には、まず「ド」ダブリにするか、「ラシ並び」にするか、1オクターブの間隔が広がるので、1穴つめなくてはならないなどの問題をクリアしなければいけない。そして、そのために受けるメーカーの経済的負担、減価償却の問題、その上に、今まで吹いている楽器を捨てて、新しい楽器に乗り換える奏者がいるか、などなど考えると、この問題解決は、現状では期待薄と言わざるを得ないのではなからうか。

提起3 何故五線譜を使わないのか？

五線譜を使わないから、ハーモニカが軽視され、若い愛好者が育たない。という意見らし

い。

五線譜、数字譜論争は古くから行われているが、いつも尻切れトンボである。五線譜は、音楽の世界共通の文字であり、音楽表現上最高の手法であることは言うまでもない。

しかし、だからと言って数字譜排撃は、ちょっとお門違いの議論なのである。

一口にハーモニカと言っても、その種類によって機能が根本から違うので、それを一把一からげにして議論して来た所に根本的に誤りがある。



Larry Adler

次のように分類して考察を進めよう。

- 1、クロマチック・ハーモニカ
- 2、合奏・アンサンブル
- 3、テン・ホールズ
- 4、複音ハーモニカの無伴奏独奏

第1のクロマチックについては、固定楽器として、フルートやバイオリン等と同等の扱い方で、五線譜を使用すべきであろう。

第2の合奏アンサンブルについても、メロディパートは単音は勿論、複音もC、C#を使う場合は当然五線譜を使用すべきである。

第3のテン・ホールズは、ちょっと演奏法が違うので、この場合議論から外そう。(それは完全移調楽器である上に、2ndポジション、3rdポジションなど違った奏法を使うので、五線譜をがそのまま使えないからだ。)

第4の複音ハーモニカの無伴奏独奏
これが問題なのである。

まず、楽器自体が長短各12通りの完全移調楽器であるため、五線譜では対応出来ない。

五線譜を対応させるとすると、二つの方法が考えられる。

第1の方法は、五線譜を「移動下法」で読んで演奏してゆく方法であるが、シャープやフラットで構成されている12の調子を、「移動下」で読みながら吹き吸いと音の一をさぐって曲を吹いてゆくことは、言うに易しく実行に困難で、ハーモニカの普及にブレーキをかける以外の何物でもない。

第2の方法は、原譜を全部調子記号の無い「ハ調書き」に書き直して吹く方法である。

しかし、この方法をとるにしても、C調だけ考えても、実音記譜にするのか、1オクターブ下げて記譜するののかの問題や、途中で転調したときの処理をどうするかを考えると、処理しきれなくなってしまうことに気が付くであろう。

いやそれ以前に、ハ調書きしたものは、いろいろな意味で、もう本来の五線譜の目的を失ってしまったもので、これで五線譜を使っていますなどと言ったら、物笑いの種になってしまう。

紙面の都合で、くわしく説明しきれないが、完全移調楽器である複音ハーモニカを使っての無伴奏独奏には、数字譜が一番適しているのである。

----- 0 ----- 0 ----- 0 ----- 0 -----

しかし、誤解してほしくないのは、無伴奏複音独奏者といえども、五線譜は勉強しなければならないのは当然で、それを否定しているのでは無い。

さて、フリーディスカッションで、議論は白熱したが、標題の「21世紀のハーモニカを考える」という問題の解決に結び付かなかったようだ。

現在、我々が一番心をいためている問題は、若い奏者が育たないと、このままではハーモ

ニカ界は老朽化してしまって自滅してしまうのではないか、という心配である。

では、どのようにして道を切り開いて行けばいいのかが最大の課題であり、これを追求することが「21世紀のハーモニカを考える」というテーマに合致することになると思うが、テーマが大きすぎて、一口で表現するのは無理であろう。

しかし、その一つの突破口として、こんなことを提案してみたい。

ハーモニカをカッコ良く吹こう！！

カッコ良くとは、吹くときのルックスであり、内容である。

ルックスについては、

- 1、シャープは下側に持とう
- 2、暗譜で吹こう
- 3、吹くゼスチュアを工夫しよう
 などなど……

内容については、

- 1、若者向きの曲を選曲しよう。
- 2、リズム感と音楽性を追求しよう。
 などなど……

その他いろいろあろうと思われるが、要は若い人達に「吹いて見たいな」という気を起こさせるような演奏を提供してゆくことが、若い人達にアピールする突破口になるのではなからうか。

言い方の足りない所はお許しただいて、皆さんの活発なご意見を期待している。

またお目にかかる日を楽しみに。



ハーモニカ生産は減少傾向

平成10年楽器生産統計より

編集局

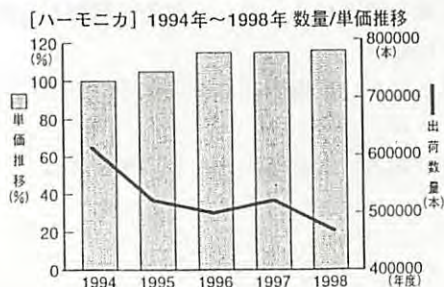
平成10年の楽器生産統計によると、ハーモニカの生産量は

国内生産	576千台 (括弧内1日当たり、以下同じ、1579台、)	
輸入・海外生産	87千台 (238台)	
販売高は		
国内向け	469千台 (1284台)	564百万円 (1545千円)
輸出向け	248千台 (681台)	197百万円 (541千円)
合計	717千台 (1964台)	761百万円 (2085千円)

だったそうである。

出荷数量は、1994年の60万台以降、1997年に少し上向いたほかは、1998年の47万台まで年々減少傾向である。

なお、上の販売金額を販売数量で割ると、ハーモニカの単価は、国内向け1203円、輸出向けは795円、合計において1062円である。ハーモニカってこんなに安いもの？



速報！

動き出した2000年の韓国大会 プレイベントがソウルで開催

特別顧問 齋藤 壽孝

来年ソウルで開催される《第3回アジア・パシフィック・ハーモニカ・コンテスト&フェスティバル》のプレイベントが去る3月6日（土）から13日（土）まで1週間に亘って韓国各地で開かれました。

参加国は、地元韓国をはじめ日本、中国、台湾、フィリピン、シンガポール、マレーシアの6カ国。日本からは韓国でも知名度の高い森本恵夫さん、10ホールの世界チャンピオン吉田有信さん、ヤング代表の「トリプル・ロックス」、そして私の6人が参加協力しました。

一行は、ソウル、春川、大邱、全洲などの都市でコンサートやテレビ、レストラン・シアターなどに出演、それぞれの持ち味を活かした演奏で主催者側の要請に応えました。中でも人気は若さあふれる「トリプル・ロックス」と当地では珍しい10ホールのステージでした。

演奏が終わると若い人たちのサインせめ、握手せめでした。そのため、約束では3月10日（水）になっていた帰国を主催者側の強い希望で吉田有信さんだけ残ることになりました。

今回のプレイベントが韓国のハーモニカ界に与えたインパクトは相当のものだったと思われます。

3月6日（土）にソウルで開かれた国際会議では、2000年の《第3回アジア・パシフィック・ハーモニカ・コンテスト&フェスティバル》は、8月10日（木）から13日（日）までの4日間、ソウルでの開催を決定、次回2002年の第4回大会は日本での開催を内定しました。

他のアジア諸国に比べ、これまで一步遅れをとっていた韓国は、いま、ホットなハーモニカの風が吹きはじめてきたようです。

日本チーム団長 齋藤 壽孝



「ハーモニカ毎日の練習」

—ハーモニカが上達する為の大切なこと—

全日本総合音楽院院長

F. I. H (世界ハーモニカ連盟) 日本支部役員

池田 輝樹

他の楽器等でも共通すると思います。自分自身にも言い聞かせるつもりで書いてみました。私のハーモニカ歴を簡単に言いますと、師範学校の予科時代にハーモニカバンドに入り、後、南部信喜先生（戦前から活躍し、我が国におけるクロマチック・ハーモニカとアンサンブルの草分け的な方）のご自宅に寄宿させていただいて、ナンブ・ハーモニカ・アンサンブルのメンバーとして、いろいろな放送やステージ等に立ちました。後、香川大学学芸学部（音楽が主専攻）を出てから、小学校・中学校・高校・短大の音楽科と保育科でいずれも音楽（特に器楽合奏等）を教え、現在は独立して、総合音楽院や全国幼児リード器楽合奏連盟を創立させて、全国を飛び回っております。

私の門下からはいろんな大学の音楽の先生（音楽等）や、地方・ハーモニカ連盟の会長や、有名な楽器会社の器楽指導講師及び地方オーケストラ常任指揮者等々が巣立って行きました。大変嬉しく思っている次第です。

なお、上達すると言っても技術だけが先走ってもいけないし、又、理論だけでも駄目ですし、又、人間性の向上のみでもいけません。これらが全部総合されなくてはならないと思います。

I) 楽譜について

数字譜が以前からよく使われていますが、五線譜は音楽の一般的なものですので、是非、使用して下さい。数字譜は便利な点多々ありますので、出来れば両方が読めると大変良いと思います。琴や三味線や太鼓（日本）等々にも独自の楽譜がありますが、最近では五線譜を使用する方も増えて来ました。

II) 練習

毎日の生活の中に取り入れることです。そして、次の3つ位の分野をバランスよく、することです。

◎音階練習 ◎練習曲 ◎楽曲

次に要点を書きました。なお、詳しく実地の為の楽譜等は「ハーモニカ毎日の練習」と言う私の書いた小冊子（手書きで簡単にまとめたもの）がありますので（¥2,500、税共、送料は別）直接に池田宅宛お申し付け下さい。

（☎340-0006埼玉県草加市八幡町524-5池田輝樹tel.0489-35-2282 FAX0489-35-5544）

(1) 音階練習

一口に音階練習と申しましても次のようないろいろがあります。なお、以下実地に吹く時は、舌を左に当てたものと、口をとんがらせてウ位の口で吹吸をするものの2種類でして下さい。

①ロング・トーン（例1）[ハーモニカ毎日の練習の例を参照のこと。以下例は同じ]

大体普通の方で20秒位です。30秒を超すと息が長い部類に入ります。

②1度音程（例2）[ハーモニカ毎日の練習の例を参照のこと]

普通の吹き方（吸い方）とタンギング（舌先で切る。シングル・タンギングとダブル・タンギングがある）で、して下さい。

普通の吹き方の時に、のどの音になるだけ鳴らないようにすることです。

③ 2度音程（例3）〔ハーモニカ毎日の練習の例を参照のこと〕

1穴2音を念頭において、ゆっくりから、だんだん速くして下さい

④ ハ長調の音階（例4）〔ハーモニカ毎日の練習の例を参照のこと〕

かえ手（ミ#とシ#）を使ったものも示しておきます。最低音から最高音部までゆっくりからだんだん速くして下さい。

⑤ イ短調の音階（例5）〔ハーモニカ毎日の練習の例を参照のこと〕

短調には3種類あります。

◎ 自然的短音階（ナチュラル・マイナー）

◎ 和声的短音階（ハーモニック・マイナー）

◎ 旋律的短音階（メロディック・マイナー）

かえ手を使ったのも試みてみると面白いと思います。

⑥ 半音階（例6）〔ハーモニカ毎日の練習の例を参照のこと〕

かえ手を使用するのも試みて下さい。

⑦ 3度音程（例7）〔ハーモニカ毎日の練習の例を参照のこと〕

⑧ 4度音程（例8）〔ハーモニカ毎日の練習の例を参照のこと〕

⑨ 5度音程（例9）〔ハーモニカ毎日の練習の例を参照のこと〕

⑩ 6度音程（例10）〔ハーモニカ毎日の練習の例を参照のこと〕

⑪ 7度音程（例11）〔ハーモニカ毎日の練習の例を参照のこと〕

⑫ 8度音程（例12）〔ハーモニカ毎日の練習の例を参照のこと〕

⑬ 9度音程（例13）〔ハーモニカ毎日の練習の例を参照のこと〕

⑭ 10度音程（例14）〔ハーモニカ毎日の練習の例を参照のこと〕

⑮ 11度音程（例15）〔ハーモニカ毎日の練習の例を参照のこと〕

⑯ 12度音程（例16）〔ハーモニカ毎日の練習の例を参照のこと〕

⑰ 13度音程（例17）〔ハーモニカ毎日の練習の例を参照のこと〕

⑱ 14度音程（例18）〔ハーモニカ毎日の練習の例を参照のこと〕

⑲ 15度音程（例19）〔ハーモニカ毎日の練習の例を参照のこと〕

⑳ 16度音程（例20）〔ハーモニカ毎日の練習の例を参照のこと〕

(21)24の長音階と短音階（例21）〔ハーモニカ毎日の練習の例を参照のこと〕はおぼえてしまおう迄、何度もして下さい。最低音から最高音迄、上行、下降をして下さい。

(22)出来れば(21)の西洋音階のみではなく、日本音階の各種や民族音階やジャズ音階等もすることです。（例22）〔ハーモニカ毎日の練習の例を参照のこと〕

音階練習は、基礎だと思って何回もして下さい。

（2）練習曲

他の楽器に比べて、ハーモニカには練習曲があまりありません。そこで私がおすすめしたいものは①コールユーブンゲンです。（音程のとり方や楽譜の読み方等々、これを仕上げると大抵の曲は初見で歌ったり奏したりすることが出来るようになります。どこの出版社のもの共、大体同じ内容です。一部を示しておきます）（例23）〔ハーモニカ毎日の練習の例を参照のこと〕

コールユーブンゲンが終われば②コンコーネが良いです。一部を示しておきます。（例24）〔ハーモニカ毎日の練習の例を参照のこと〕

③ いろいろな奏法

ハーモニカにはいろいろな奏法がありますので、次に示しておきます。

1、ハンド・カバー奏法

パイプ・ハーモニカや特殊なハーモニカ等以外は下側から音が出ますので、左手の親指と他の4本の指ではさんだハーモニカを、右手でおわんのようにふたをします。左手と右手の手首はくっつけておき、開いたり閉じたりしますと、音は波のように流れてゆきます。左と右の手首だけはしっかりとくっつけておいて、右手の指先のみ、または左手の指先のみ、または左と右の指先を同時に開いたり閉じたりしますと、いろいろな形のハンド・カバー奏法が出来ます。開閉の速いおそいによってもデリケートな効果が得られます。(例25) [ハーモニカ毎日の練習の例を参照のこと]

2、バイオリン奏法

複音ハーモニカでは、普通は上側の穴だけを奏します。ともかく一つの音のみをだんだん口をつぼめていって、のどの奥で共鳴をおこしながら、右手でハーモニカをゆするように動かします。ただし、口はハーモニカから絶対に離れないようにして下さい。

3、マンドリン奏法

口をなるべく小さくつぼめて、赤ちゃんをあやす時のように、舌をアララララララと素早く左右、または上下に動かしてください。

以上、この他にもジャングル奏法や、空気ベース等々いろいろな奏法がありますが、自分で工夫をして大いに楽しんで下さい。

4、ベース奏法

スライド式クロマチック・ハーモニカや複音ハーモニカ等、とにかく上側に半音の付いている単音ハーモニカ以外のものをお持ちの方は、ベースを入れて楽しみましょう。

なるべく大きくハーモニカをくわえて、舌を左側に当てて、舌をはなしたり、つけたりしますと、ザッ、ザッ、と言う伴奏のリズムが入ります。大ベースや小ベース等、いろいろ出来、又高音ベースと言って舌を右側にしますと、高音でリズムを入れることが出来ます。

(例26) [ハーモニカ毎日の練習の例を参照のこと]

5、三度奏法

口をやや少し横に開くと、三度の音を同時に鳴らすことが出来ます。(例27) [ハーモニカ毎日の練習の例を参照のこと]

6、四度奏法

四度を口にくわえて、真ん中に舌をあてて両端の音のみを出します。(例28) [ハーモニカ毎日の練習の例を参照のこと]

7、五度奏法

五度を口にくわえて、真ん中に舌をあてて両端の音のみを出します(例29) [ハーモニカ毎日の練習の例を参照のこと]

8、六度奏法

六度を口にくわえて、真ん中に舌をあてて両端の音のみを出します(例30) [ハーモニカ毎日の練習の例を参照のこと]

9、八度奏法(オクターブ奏法)

八度を口にくわえて、真ん中に舌をあてて両端の音のみを出します(例31) [ハーモニカ毎日の練習の例を参照のこと]

次に三度奏法や五度奏法、八度奏法等を図で示しておきます。(例32) [ハーモニカ毎日の練習の例を参照のこと]

10、分解和音奏法

シングル奏法(一つの音のみを出す)・三度奏法、四度奏法、五度奏法、六度奏法、八度奏法(オクターブ奏法)等をいろいろに組み合わせて奏すると得られます。ただし、上側に半音の付いている単音クロマチック・ハーモニカ以外のものに限り、ハーモニカを浅く

くわえたり、深くくわえたりしてうまく操作してください。(例32)「ハーモニカ毎日の練習の例を参照のこと」

なお、以上の楽譜は舌を左に当てたのと口をつぼめてウ位の形にしたのと両方でなさっておくと良いと思います。

(3) 楽曲

童謡、世界各地の民謡、クラシック、ジャズ、等々いろいろな分野の曲をとりあえず演奏してみましょう。自分に向いているのがだんだん判るようになります。

Ⅲ) その他上達の為の心得みたいなものを書いてみました。

(1) 良い絵画や文学小説、等々を読んで心を豊かにして美に対する歓心を常に抱くこと。ロマン・ローランのジャン・クリストフ等は是非再読をおすすめ致します。

(2) 常に謙虚であること。自分が下手だと思っている時は向上している時であり、上手だと思っている時は下降していることと、さることです。

(3) 自然の草木や花々に対して愛情を持ち、それらを大切にすることを心がけることです。

(4) 楽器も草花も生命あるものと思って、幼児等をあつかうごとく、大切に可愛いがる心をもつこと。そうすると必ずや反応があるものです。

(5) 常に時代の先端に興味を持ち、その時々最先端の本やビデオやCDを聞いたり見たり、演奏したりすることです。

(6) 音楽は、最後には体力がものを言います。それぞれ自分の身体に合った運動をすることです。私は極力、たくさん歩くように、こころがけております。又、朝、顔を洗う時に洗面器に顔をつけて少し息をとめてみたり、又、腕立て伏せ等は、腹筋等の発達にも良いので、ハーモニカの為の良い運動だと思っております。

(7) 演奏する曲に関しては、同じ曲のいろいろなCD等を徹底的によく聞くことです。そして曲に対する解釈を考えて身に付けることです。

(8) 音楽全般の研究をすること

- ①楽典 ②和声学 ③対位法 ④音楽形式 ⑤旋律学 ⑥聴音 ⑦鑑賞
⑧合奏 ⑨声楽 ⑩合唱 ⑪音楽史 ⑫ピアノ、等々

(9) 人格をみがくことに常に努力すること

(10) 音楽以外のいろんな職業の人と接して参考になる所を音楽に取り入れること。

(11) 孤独にたえてそれを練習に生かすこと。哲学書等も研究したいものです。

(12) どんな難曲であろうとも、あきらめないこと。うんとゆっくり、毎日同じ所をくりかえしていると、行く手に明かりが見えるようになります。今のところ私の難曲は次の曲です。

Marche Grotesque「怪奇行進曲」(Joseph Achron作曲) aus "Suite Bizarre" Op. 41, No. 9 "怪異組曲"

以上

ハーモニカの練習等に関しては、又いつか詳しく書いてみたいと思っております。他の楽器に比して、ハーモニカ教本等は少ないと思います。又、ハーモニカに対する曲やクロマチク等の無伴奏の曲も少ないので、どしどししらえてゆかなくてはならないと思っております。

注(いただいた「ハーモニカ毎日の練習の例」は大量になりますので、本誌に掲載できませんでした。悪しからずご了承ください。===編集局)

上下だけでなく左右にも動く

奇妙で興味津々のリードの話 公開質問

吉村 則次

より軽く、よりいい音が出るように、またより長持ちするように、自分のハーモニカ（クロマチックのみです）を調整（調律も含む）するだけでなく、人のクロマチックハーモニカも見てあげており、どうしたらリードがよく鳴るようになるか、それにはリードプレートとリードはどのような状態にあるのがいいのかを常に考えています。

次に述べることは、最近数人のかたから聞いた話です。すべてクロマチック・ハーモニカに関するものです。

私は金属加工の専門でもなんでもありませんので、解決法も原因も、またここに述べられたことが本当のことか間違っているかどうか分かりませんので、どなたかご専門のかたがおられましたらお教えてください。

本当はメーカーさん又は扱い業者さんからの声（回答）を聞きたいのですが、メーカーさんでは製造上の秘密があるらしく、競争している他社に聞かれたくないのか、文書による回答は期待できません。

リードとリードプレートは非常に精度の高いもので（到底見せていただくことは期待できませんが）おそらく設計図は、1ミリの千分の1であるミクロン（0.001ミリ）単位で書かれているのではないかと思います。特にリードの厚さ（当然金属の混合率や焼き入れ温度やその時間も）は、この単位で規定されているのではないかと思います。

リードとリードプレートのリードが入るスロットの壁との間隔も、私の推定では、メーカーによる差異及び同じメーカーでも低い音のリードと高い音のリードとの差異がありますが、0.02～0.04ミリぐらいと思われ、したがってこの文章で「横ななめに揺れる」とか、「バリがある」とか言っても、これらは目で確認できるほどのサイズのものではなく、顕微鏡的のものであることを前以てご理解ください。（リードは厳密な意味で必ずしも完全な長方形（両端が平行）ではなく、メーカーによっては先が根元より細い形になっているものもあるように思われます。あるいはスロットの方が先太になっているのか。）

◎リードは左右、ななめにもゆれる

リードとスロットの間隔は十分（メーカーによって異なりますが、ホーナーの場合は0.04ミリぐらい）にとれており、リードがスロットの壁にさわることはないように思える場合にも金属が触れる音が起こります。

リードは、その材質のむらや調律のためのヤスリの方向により、振動させた場合に「ねじれ」が生じ、上下のみではなく、左右、ななめにも多少ぶれることがあるのではないかと。（メーカーでの最終調律のときに音を低くする場合は、リードの根元近くを斜めに削るらしく、斜めのヤスリあとがある。）

リードプレートとリードが少しでも触れると、全く音は鳴らなくなるとも思われるが、それではこの金属的な音は、プレートに関係なくリード自身の不自然な振動により発生するものか、あるいはやはりリードプレートとリードが非常にわずかではあるが触れているのか。

◎金属音は、同じ穴にある他のリードから出ている。

ある音を吹いたときに、鈴虫の鳴き声のような、非常に高周波の音が混ざることがあります。これは、薄いリードのハーモニカによく起こるような気がします。その原因は同じ穴にある他のリードにあるように思います。たとえばある音を吹いたときには、他の吸うリードは完全に止まっているものではなく、共鳴して振動してしまうように思います。これがときには金属音になるものと思います。ちなみに、このときに吸うリードを指で押さえると、その金属音が止まることがあります。

◎リードがななめに動くからこそ、ベンドというものが出来るのだ。

◎リードの音は、リードの振動ではなく、リードとリードプレートとの間で空気を「切る」ことにより生じる。消防車のサイレンと同じ原理である。

リードを金属でピンピンとはじいても、それこそ聞こえないぐらいの小さい音しかでないの
で、この説は正しいか？

◎リードプレートのバリはそのままとする。バリは、目で見えないくらいのもので、指でさわるとやや刃物の刃のように感じられるぐらいのバリです。

一般的に金属やプラスチック加工で「バリ」は、非常にじゃまなものと思います。バリがなくて、切り口が直角に切れていることが望ましいものと思われます。しかし、ハーモニカの製作においても、金属板を金型（紙にパンチで穴をあけるのと同じ）で抜くので、バリは必ず起こります。

リードプレートのバリをヤスリか何かで取り去ると、切り口に丸みができて、上に述べたように「空気をうまく切れなく」なります。したがって、リードプレートのバリはそのまま残します。リードは、ブルースハーモニカのようにリード単位で吹き吸いが分かれている場合を除いては、吹き吸いが同じリードプレートに乗っかっているの、リードプレートを打ち抜くときに、表・裏と分けて打ち抜く。

（注、リードプレートではなく、クロマチックのマウスピースのスライドやそれに接する他の金属のバリは、取り去った方がいいと思います。メーカー側で、ここを磨いているとは思えず、ほとんど全てのメーカーのものスライド（ないしはマウスピース）に鋭い角又はバリが残っております。スライドがスムーズに動かず、ざらざらする音がするので分かります。手で触って、刃物のようにとがっている部分は、ペーパーで磨くと、スライドは、驚くほどスムーズに、音を生じずに動くようになります。）

◎リードそのものにもバリは残っている。

リードは、プレートやスライドに比べれば、はるかに薄い金属で作られているので、程度は非常に小さいもので目で見ても分かりませんが、バリは残っていると思われます。「顕微鏡で見たら」です。

◎リードスロットの壁のザラザラは、リードの動きに障害になっているのではないか。

リードスロットの壁のざらざらは、必ず起こるものである。金型で打ち抜くのは、「切る」だけではなく、圧力をかけて「押し切って」いることもあるから、そのようなざらざらは必ず残る。包丁を前後に動かさずにパンを（圧力だけで）切ったり、同じく包丁を動かさずにナスビを切ったときに残るものと同じである。

◎最近某社のクロマチックの音の質が悪くなった。これは最終の検査（調律等）やリードそ

のもの質もあるかも知れないが、それよりも、リードプレートの材質に原因がある。(音の発生源が、上に述べられたように音を「切る」ということであれば、プレートの材質も音に影響するということか。プレートは共鳴板としての役割もあり、この面からもプレートの材質が音に影響するのか。)

◎リードプレートの厚さは、下(低音)の方に厚く、上(高音)の方に薄いのが望ましい。

しかし、こういうように製作するには費用的に困難なので、下から上まで同じ厚さのプレートを使っている。

ホーナーのスーパー64Xのリードプレートは、この理由によるものか、2枚で構成されており、上の方は1枚をくりぬいて1枚のリードプレートとして使っている。

◎あるメーカーの高級ハーモニカで最近感じられることは、リードプレートの厚さの違いによる音質(響き)の違いです。以前のプレートは薄いのでよく響きますが、現行の商品は少し厚くなり、響きが押さえられています。その分、音程は安定したように思います。ボディの形状のみならず、わずかな厚さの違いでも音質が変わるのを実感しました。メーカーもいろいろ試行し、数種類のプレートを販売してくれると助かるのですが、現在は厚いものしか販売していません。カバー、ボディ、プレートの材質、厚さ等を研究するだけでも、ハーモニカは、まだまだ進化する余地が残っていると思います。

(F I H発行の「ハーモニカ・レビュー」34号p30によると、ホーナーのリードプレートの厚さは1.05mmと1.3mmの2種類あるようであり、機種別にその使用している厚さが記述されている。)

◎一般的に、楽器の材料は軽くて曲がりにくい材料が良いとされている。

E(ヤング率)/ ρ (密度)の値が高いものが好まれますが、また、このE/ ρ 値が高いということは音の伝播速度も速いので良いと言われています。一方、音の振動を材料の内部で吸収しないほうが良いとも言われておりまして、楽器の材料は内部減衰率の低いものが望ましいと言われています。

◎ハーモニカではリード、リードプレートは約30%の亜鉛と残り銅の成分の黄銅や、これに若干量の鉛を添加して快削性(打ち抜き加工性も含めて)を持たせた黄銅が使われていると思われませんが、これはE/ ρ 値は低く、音の減衰も小さい材料です。

ハーモニカは小型軽量のもので、あまりE/ ρ 値に留意する必要はないというものかどうか。少なくとも疲労を考慮して強度の高い材料が好ましいと考えるのですが。

(E/ ρ が高くて音の減衰の小さい材料では、例えばチタン、ジュラルミン、ベリリウム等がありますが)その他音響的なこと等の要素も考慮されているかも知れないと思っています。



J I S が廃止されました

99. 4. 29 横山賢一

ハーモニカの” J I S S 8501” が平成10年10月20日に廃止されました。といっても、それは半年も前のことになりましたが。別件で、J I Sを調査する用事があって、昨年の12月に大阪の規格協会へ行きました。その時、ハーモニカのJ I Sを買って帰ろうと思い申し出たところ、最近廃止されたのでありません、と言われましたが、閲覧用のファイルに抜き忘れられて残っていたので、最後の1冊を求めることができました。

J I S (日本工業規格) は工業標準化法(昭和24年法律185号)に基づいて日本工業標準調査会で調査・審議され、政府によって制定される、わが国の国家規格です。楽器は日用品である” S” 分類で、その8000番台の娯楽用品、音楽用品に登録されます。

ハーモニカは昭和31年4月18日に、楽器の中で最初に登録されました。原案作成には全国楽器協会が協力し、ハーモニカ専門委員会を作って審議されました。その後ピアノ、ギター、たて笛、よこ笛、クラリネットが制定されています。木琴、鉄琴、トランペットも制定されていましたが、現在では廃止されています。J I S規格を満足するものであれば、だれが作ったものでも同じ品質の製品であるし、満足する製品であることを通商産業大臣に許可を受ければ、工場に「日本工業規格表示工場」の看板を出し、製品にJ I Sマークを付けることができます。しかし、今のハーモニカには、J I Sマークもないし、規格で決められている等級の表示もありません。現在では、J I Sで決めてそれをまもるようにチェックしなくても、粗悪品が出回って消費者に迷惑がかかるというようなことがなくなっただけでしょう。

なお、” J I S S 8501” には、次のようなことが決められていました。

適用範囲	プレートに黄銅板などを使用したハーモニカである
等級	品質によって1級と2級がある
名称	プレート、中仕切り、窓などの名称
品質	リードと窓のすきま、カバーの耐食性、平均率や純正律の基本ピッチ、音が出る風圧などの品質
構造及び寸法	吹き出し面のはみだし寸法やプレートの面取りやカバー用の溝など
材質	本体、プレート材、リード材、カバー材、ねじ等止め具の材質
試験方法	①乾燥試験、②温水試験、③リード保持力試験、④リードわれ試験、⑤フェロキシル試験、⑥周波数測定試験、⑧吹鳴試験、の試験方法
検査方法	品質、構造及び寸法を検査すること
表示	製造業者名やその略号、等級などを表示すること

以上

短音階ハーモニカ誕生！

永 久 欣 示

短音階ハーモニカが創案されたのは、佐藤秀郎楽歴（同氏著『ハーモニカの日本的奏法』昭和18年発行）によると、「昭和5年、欧州より帰朝後、多年の懸案たりし短音階ハーモニカを福島常雄氏と共に完成す」とある。そして翌年、「短音階発表大演奏会を大阪朝日会館、京都及び神戸の青年会館で開催。『荒城の月』を編曲発表しハーモニカ界最初の『無伴奏形式独奏曲』を樹立す」と明記されている。

私の手元に、薄グリーン色のハترون紙（横15センチ×縦35センチ）に、20人の方々のマイナーハーモニカへの讃辞を印刷したものが1枚残っている。

これはおそらく1本1本現品に巻いて箱におさめた際使用した、今でいうトンボ楽器のPR用のものだったと思われる。

紙の右上部には創案者リリカルハーモニシスト佐藤秀郎氏、左下部にはジャジカルハーモニシスト福島常雄氏と書かれないずれもハーモニカ演奏中の当時の若いお二人の顔写真がある。

20人の方々の文章は、今まで出るべくして出なかった短音階ハーモニカの出現したことは、ハーモニカ音楽に新領土が獲得されたことを意味し、ハーモニカ音楽はますますその社会的機能を高めてゆくことと思われる、という意味の内容で、細かい文字で印刷されてある。

どんなメンバーであったか、ご参考までにご披露しよう。

- 堀内敬三氏
- 奥田良雄氏（ニューヨコハマリードバンド会長）
- 松原千加士氏（東京リードバンド会長 全国独奏選手権大会審査員）
- 真野泰光氏（日本ハーモニカ聯盟会長 トンボハーモニカバンド会長）
- 吉川元歳氏（京都リードカルテット主宰）
- 宮田東峰氏（ミヤタハーモニカバンド会長 全日本ハーモニカ聯盟常務理事）

- 吉川新次郎氏（ハーモニカニュース主幹）
- 庵原要次郎氏（神戸リードバンド指揮者）
- 春柳振作氏（全国独奏選手権大会審査員）
- 畑 旋氏（入谷商工ハーモニカバンド指揮者）
- 上原秋雄氏（上原ハーモニカ教授所主宰 全国独奏選手権大会審査員）
- 梶 又一郎氏（神戸リードバンド第一ハーモニカ主任 1932年度及び33年度
全国独奏選手権保持者）
- 川口章吾氏（日本ハーモニカ協会会長 全国独奏選手権大会審査員）
- 畑 修氏（大阪ラルモニカアンサンブル指揮者）
- 桜井陽一氏（1933年度全国独奏選手権大会優勝者）
- 仲谷定一氏（ハーモニカ音楽主幹）
- 保坂 実氏（1932年度全国独奏選手権大会保持者）
- 小原寿実雄氏（京都グリーンバンド指揮者）
- 岡本 潔氏
- 陶野重雄氏（1932年度全国独奏選手権保持者）

以上の通りであるが、このPR用包紙は昭和10年頃のものと同様と推察され、これらの諸先輩の顔ぶれからみて、当時のハーモニカ界の盛況がうかがえる次第である。

（終）



洛水ハーモニカ同好会の最近の活動と予定

（写真ページも参照） 問、筒井 松太郎(077-522-5466)

- 99/2/2 洛水ハーモニカ同好会コンサート 京都 北陵診療所
- 99/2/14 京都市文化振興課よりの依頼で伏見区醍醐パセオダイゴローアトリウム
- 99/3/13 「この人と語る=ハーモニカ人生」おおつ21世紀塾 大津市生涯学習センター
- 99/4/4 大津市合唱連盟主催第18回合唱フェスティバル、大津市民会館で演奏
- 99/4/10 びわ湖パレイ"桜まつり"で演奏
- 99/5/23 京都市文化振興課よりの依頼で伏見区醍醐パセオダイゴローアトリウム
- 99/9/17 「楽しいハーモニカ人生」八日市市 建部公民館
- 99/10/30 or 31 京都市文化振興課よりの依頼で 鴨川河原西側特別ステージ
- 99/12/19 クリスマスミニコンサート、筒井松太郎、彦根市めぐみキリスト教会



7～9月研修会開催のお知らせ

研 修 部

テーマ 『楽典の再確認』 (3回シリーズ)

今年度の研修会のテーマは、『楽典の再確認』ということで進めてみたいと思います。昨年実施しました「合奏指導上の問題点」と一部重複する感がありますが、研修会出席者が意外と少なく、十分に討議されていない点もあり、独奏、重奏、合奏も含めて、範囲を広くして討議の場を設定して見たいと思います。指導者が楽典を十分に理解していないために、うっかりと間違っただけを教えていないかどうか、指導内容が生徒の進度に対してむずかし過ぎないか、指導の順序が適切かどうか等々を、音楽の三原則に従って、次のように3回に分けて実施してみたいと思います。現在まだ指導はしていないけれども、演奏活動のために理論の確認をしたい方もぜひご参加ください。

第1回 99/7/31 土 6:00~8:00pm

音の高さ、音階、メロディ

ハーモニカの不規則な音列をどう指導する

長音階と短音階

半音楽器の扱い

簡単な転調

第2回 99/8/14 土 6:00~8:00pm

音の長さ、拍子、リズム

4拍子、2拍子、3拍子、6拍子

シンコペーション

テープ等からの聞き取り

第3回 99/9/22 水 6:00~8:00pm

音の協和、ハーモニー

ベースの乱用

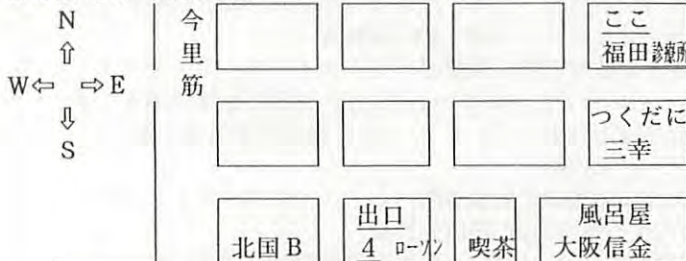
3穴奏法、5穴奏法、7穴奏法、9穴奏法

2穴奏法の是非

- 1、場 所 医療法人 福田診療所 2階 友遊館
537 大阪市東成区東中本1-4-17 電話 06 6974-2220
(地下鉄中央線緑橋4号出口すぐ、見取り図は下記のとおり)
- 2、費 用 運営費及び資料印刷代として、1人500円
- 3、必要なもの 各種ハーモニカ、筆記用具、五線紙等
- 4、問、研修部長 白鳥 達夫 電話 06 6728-7951



研修会会場 見取り図



⇐森ノ宮 地下鉄中央線 緑 橋 ⇨深江橋
高速道路下

世界ハーモニカ大会99ドービルフランス

W H F ' 99 Deauville 大会中止！

編 集 局

5月6日の同大会会長からのFAXによると、残念ながら大会は最終的に開催中止となりました。

関西からの参加予定者は9名で決定し、説明会も開催し、吉村則次氏を世話役として手続きを進め、それぞれコンテストの上位入賞をねらっていましたが、非常に残念なことです。

中止に至った理由は、先方からの通知によると、参加申込者が少ない、各国のハーモニカ団体が協力的ではない、補助金がない、スポンサーがつかない、だから経済的にもなりたないということだそうですが、これは単に今回のハーモニカ大会が経済的理由で中止になったというだけにとどまらず、ハーモニカの世界そのものの元気がなくなって来た（愛好者の高齢化、意欲の減退、したがって参加者の減少、スポンサーがつかない、メーカーの協力も弱くなる等々）のがその原因とも見られ、今回のつまづきにより、今後の世界大会の開催に関しても危険視されることになりました。

今回の中止に関し、主催者に対し不満を言う前に、どうしたらハーモニカを盛り上げることができるかを考えることが、我々の大きな緊急の課題ではないかと思われま

新 し い C D 等

吉村 則次

- ◎西脇辰弥 Portfolio 日本PヴァインレコードPVCP-9405
- ◎西脇辰弥 Portfolio/Election 日本PヴァインレコードPVCP-9407
FIHジャパンの会報「ハーモニカレビュー」34号で紹介されているアレンジャー、プロデューサー、演奏家のグループ Portfolio のアルバム
- ◎TOOTS THIELEMANS, Doky Brothers 2, Denmark EMI Blue Note 8564582
- ◎TOOTS THIELEMANS, Astrud Gilberto/Talkin', USA Verve 314 539 675-2
- ◎TOOTS THIELEMANS, Shirley Horn/I Remember Miles, USA Verve 314 557 199-2
- ◎TOOTS THIELEMANS, Isao Miyoshi/Your Smile, Japan King KICJ 347
以上は会員の大森務氏が引っ張り出した東京の藤原隆行氏のホームページに掲載されていたもので、東京の大手レコード屋で購入できた。
- ◎Bruno de Filippi, You My Love, EEC Sarabandas srl CD 53316
イタリアのハーモニカ奏者である。オーストラリアの友人からもらった。
- ◎SIGMUND GROVEN, Harmonica Album, Norway Grappa GRCD4151
シグモンド・グローヴンの京都でのコンサート会場で購入。

ハーモニカにワセリンはいかが

吉村 則次

クロマチックハーモニカのマウスピース・アセンブリー（スライド）につけるクリーム、オイル、撥水剤等について、前号に掲載しましたが、最近イギリスのハーモニカの専門家が、ワセリンがいいと書いておられます。
薬屋で1瓶50gで300円くらいであります。楽器用の潤滑剤よりかなり安いものです。一度試して見られては？ 日本薬局方白色ワセリン、皮膚保護剤（外用）です。

編集局長

現在の会報は、おおむね満足されておられるようで、ありがたく思っております。

しかし、会員の全員を100%満足させる会報(記事)は、できないと考えております。

すなわち、会員は年齢では80歳代から30歳代まで広範囲であり、興味の対象が当然異なります。

次に、当連盟のみでなく、ハーモニカ全体の現状として、常に認識しておかなければならないことに、基本的に次の5つがあると、私は思います。

- 1、対象とするハーモニカには、複音(移動ド唱法の数字譜派)とクロマチック(固定ド唱法の五線譜派)があり、お互いに相いれないものがあります。クロマチックのかたは複音に興味を示さず、その逆も同じである。
- 2、人が活躍するのを面白く思わない風潮がある。これはも別に悪いことではなく、いかなる世界でもごく当たり前のことで、これ(人が活躍して自分が活躍できなかったこと)を自分の反省として捕らえていただければと思います。
- 3、ハーモニカを大衆楽器として捕らえ、楽しければいいというかた(連盟は素人の愛好者の集団であるべきと考えるかた)と、ハーモニカも楽器であり音楽を演奏するものであり、その地位を高めなければならないと考えるかた、という二つの行き方があること。
- 4、対象とする音楽もクラシック、ジャズ、演歌等すべてのジャンルにわたっていること。
- 5、会員の演奏技能レベルが、演奏や教育で収入を得ているようなかたから、ただ教室に通って楽しんでいるだけというかたもおられるということ。

すなわち会員一人一人の興味の対象とレベルがまったく異なるということですが。

したがって、自分の趣味趣向にあった記事には興味を持ち、そうでないものは、全く興味なしというのが現状ではないでしょうか。

新聞や雑誌と同様、見出しを見て、興味のあるものだけを読んでいただく、ということではないと思っております。

制作する側としては、多くの会員に興味を持っていただくものを多く掲載しようと努力しております。そのうちでも「会員の誰がどこで何をしている、何をしていた」ということを、ハーモニカカレンダー、レターボックス、写真ページ等により、お知らせするのが、一番重要なことだと考えております。それに演奏をより楽しくするための演奏技術等のページ、意見を発表するページです。

寄せられました個別の意見とそれに対する編集局の回答は次のとおりです。

◎ハーモニカ行事の予定のうち、テレビ、ラジオ、コンサート関係については事前に紹介していただけたらありがたいことです。(同趣旨の意見多くありました。)

◎もっと広い範囲のライブ情報等も

ご指摘のとおり「事前に」会員に知らせることができなかった情報が非常に多くあります。グブってもいいですから、耳に入ったら編集局長あて電話又はFAXください。もれなく掲載したいとは思っております。

年4回3カ月毎の発行、しかも原稿の締め切り(印刷会社への搬入)が発行の1カ月前という現状では、会報で行事を全部「事前に」お知らせすることはむずかしいことです。

本誌に加え、発行直前に速報追加版を作成して、カバーしておりますが、それでも編集局に通知がなく、結局お伝えできていない出来事が多いと思います。

定例的な会報以外に特別な手段で全会員に知らせるには、宛て名ラベル作成料、郵送料、封筒代、封入発送の手間等費用がかかりますので、残念ながらこれもできかねます。

◎演奏技術、修理、維持管理等の記事要望。

◎ごく基礎的な点について教えてほしい。

演奏技術については、紙面での説明は非常にむずかしいと思います。また修理技術も写真や絵を必要とすることが多く、非常にむずかしいことです。研修部の方にお願ひしました。

◎教室訪問、指導内容等

だれが何をしているか、ということは非常に興味があるものであり、また他の教室や指導者にとって、非常に役に立つことだと思います。代表者、指導者、メンバー等がどんどご投稿ください。編集局が出向いて取材するということは、時間的にも少し困難です。

研修部が、教室の指導者を集めて座談会を開いていただき、会報に掲載するということがいかがでしょうか。

◎執筆者が限定されている。常連が多い。新しい意見を短くてもよいからもっと多く。

◎自己PRを主体と見受けられる記事は不要と思われる。

◎エリートやトップクラスの記事ばかり、初心者が気楽に書けるページを。

◎レベルが高くなった。

ハーモニカの普及拡大（当連盟の目的）のためには、会員全員が細かいこと大きいことどんどん情報載せていただきたく、自慢になってもいいから、「私はこういうことをやった」という記事もお願いしっております。むしろ、かくれてコソツとなにかハーモニカの行事をしていることのほうが、ハーモニカの普及発展を阻害していると思います。

最近では、以前にくらべれば、はるかに多くのかたが投稿してくれるようになりました。

どんどん書いてください。当連盟の目的（規約第3条）に合うものであれば、絶対にボツにすることはありません。

「私はこういうことをやった、それが好評であった」と書くことが、それを面白く思わないかたには「自己PRしている、エリートの記事だ」という意見になっているのではないかと思います。そういうものは恐れなくてください。

レベルについては、会員のレベルはピンからキリまであります。平均的会員にとってはレベルが高過ぎるのではないかと思われる記事も見受けられます。もしレベルが高くて理解できないことがありましたら、人に聞く、その記事を見無視する、自分のレベルの低さを恥じ勉強する、のいずれかでお願ひしたいと思います。

◎会報の費用が会費の中で高い支出（8割、9割）になっている。

会報は、連盟と会員を結ぶ非常に重要な手段で、ハーモニカの普及拡大及び会員の親睦に大きな力になっており、連盟の活動の中でも大きな位置を占めていると思っています。

会員の中には、連盟の他の活動（コンサート、コンテスト、研修会、総会等）には全く参加されず、会報だけで繋がれている会員も多くおられます。予算の中で、できる範囲で会報は充実したいと思っています。ご協力をお願いします。

10年度は会費収入（入会金収入を含む）の82%を会報に使わせていただきました。11年予算では同じく77%です。

他のハーモニカ団体も、だいたい同じぐらいの割合の金額を広報発行費に使っており、当連盟だけが「異常に高い」というわけではありません。

会費を5000円いただいてその80%である4000円を会報に使う、というのはいい線ではないでしょうか。多くの会員が、自分が出した会費の大きな部分が、会報という形で自分に還元されるのをむしろ喜んでいるのではないのでしょうか。

なお、8割という数字はほぼ正しいが、9割もかかっているということは間違いです。

毎年会報に公表している決算表、予算表をご覧ください。

ちなみに、会報1回1人あたりの費用の内訳は概算次のとおりです。

印刷会社に払う製作費	440円	300部製作
郵送料	240円	同封物の多寡によっては270円
その他雑費（連絡費、コピー代等）	40円	
合計1冊当たり	720円	
活動の宣伝、情報交換、会員獲得のための会員外への無料贈呈等（1回あたり約75冊）		
会員1人あたり負担約	280円	
合計会員1人あたり負担額	約1000円	年間4回発行約4000円

◎「古い話」を集められてはいかが。ハーモニカの歴史（演奏史）世界、日本

前回のレターボックスの中の永久欣示氏の記事のような逸話などお寄せいただければありがたく思います。関西のハーモニカの歴史については、以前平口謙二氏が書かれたものがありました。どなたか、その後のことを継続して書いていただければ。

ただし古い話の懐古ばかりになっては、若い人が興味を持ちませんので、あまり度が過ぎてはいけないとも思っています。

◎施設（老人）母子の寮慰問演奏について記事をお願いします。

◎海外各国のハーモニカ事情をお願いしたい。

慰問されたかた、海外の事情をご存じのかた、どんどん書いてください。平均的会員がどういうものに興味を持っているかを認識し、海外については、当連盟の会員に多かれ少なかれ関係する事項に限ってほしいと思っています。

◎記事の関係者の掲載の許可・承諾をとるべきではないか。

当連盟の目的である「ハーモニカの普及発展、会員相互の懇親」に役立つと思われるものであれば、編集局の耳目に入ったハーモニカのニュースは、一々関係者の許可・承諾をとることなく、どんどん載せたいと思っておりますが、なにか、ほんとうは人に知られたくないことであるのに会報に載せられたということだと思えます。もしご迷惑をおかけしたのであれば、お許しいただきたく思います。

ハーモニカの活動等は、一般的に言ってどンドン会員に知らせたほうがいいと思っており、人に知られたくないハーモニカ活動を行っているということがあれば、むしろその方がへんなことだと思えます。自分のことが印刷物に載せられると、まれなケースを除いては、嬉しいものです。載せてもらいたい意向で、編集局に自分の活動を知らせて来るものが多いです。むしろ「なぜあの人の記事を書いて、またはあの人の写真を載せて、おれのは載せてくれないのだ」という不満の方が多いのではないでしょうか。

当然、人に迷惑がかかる恐れのあると思われることは気をつけております。ときどき出所を「匿名様」と書くのも、その一環です。

◎字の大きさをもう少し大きくしたらと思います。

現状でお願いしたいと思います。最近の調査では会員の平均年齢が64歳、すなわち計算上は65歳以上の会員が110名もおられるわけですから、ご希望はよく分かりますが、とりあえずは読者の方で拡大鏡等でカバーしてください。現在のサイズB5判で字を大きくするとページが増えて印刷費、郵送費がかさむという事情もあります。

◎楽器の製造に関することに興味があります。メーカーの協力も含めて解説していただけるとありがたいと思います。

メーカーさんは、自分のところだけの秘密を持って他社より優位に立ちたいというか、特定の情報誌だけに掲載することに関し他社及び他のハーモニカ団体に遠慮があるのか、秘密にしていることが多いらしく、文章にすることに協力的ではないように思います。もう少しオープンになって、メーカーと愛好者の距離を近くしてくれればと思いますが、期待はでき

ません。

◎写真やカットが多くてそれなりの価値があるのですが、立派すぎて記事の方が負けそう。

文章よりも写真を重要視しております。写真やイラスト、それに空白さえもが記事を読みやすくしているものと思います。一般に売られている週刊誌は読みやすいものですが、文章がどれだけを占めているか、写真、イラスト、広告がどれだけを占めているかを見てください。

◎楽譜を載せてほしい

◎ジャズ、ポピュラー等クロマチックで演奏できる楽譜を記載してほしい。

前号に白鳥研修部長が「長い間」のハーモニカ用の複音用の譜面（数字譜）を載せてくれました。当連盟の会員は、数字譜を理解する人と理解できない人がおられます。五線紙を理解する人と理解できない人がおられます。したがって楽譜の掲載は賛否両論と思います。

楽譜を載せるということは厳密な意味では著作権使用料の支払いも起こります。

楽譜は世間に氾濫しています。人に頼ったり連盟に要望するより自分で見つけれられるほうがいいのではないのでしょうか。ただし、数字譜はハーモニカの世界だけのことから、氾濫している楽譜を自分でハーモニカ用の譜面に直す方法を勉強されてはいかがでしょうか。研修部にもそのような研修をお願いしたいと思います。

◎表紙をカラーにできないか

費用的に到底無理です。カラーの表紙を使っているのは、世界を見てもフランスハーモニカ協会及びマレーシア協会の会報だけです。

◎郵送費用を少なくするために、団体には一括送付しては。

以前一度試してみましたが、失敗でした。これからは原則として郵便で会員個々に送ります。

教室単位で配布すると、郵送経費が助かるのは確かですが、練習に欠席されたかたの手に入るのが相当遅れるという問題が生じております。極端な場合、代表のかたが、結局本人に渡すのを忘れたしまったということもありました。これらは、その団体の代表者の責任ではありますが、そういうことをやった編集局への批判となります。

会員は、全員同じ権利を持っており、特定の会員に会報の到着が遅れるというのは、不公平ということになります。

昨年定形外郵便の実質的な値下げがありましたので、助かりました。一昨年までは270円でやっていたのが240円または200円で行ける場合も多くなりました。

宅急便を利用する点も一度試しましたが、次の困ったことが起こりましたので、やめました。◎受取印が必要である。◎不在の場合持ち帰られ、または近隣に配達され、頭を下げてもらいに行かなければならない。◎特に安くはならない。◎郵便局に比べ特に早く到着するものでもない。



山田 花子

会員異動のお知らせ

会報第138号でのお知らせ以降の会員異動は、次の通りです。

1999/5/11

組織部長

新入会

5名

1	池田 利男	664-0851	伊丹市桜ヶ丘 5-2-11	アカシア楽器	0727-84-2621	('99/3)
2	上垣 博子	675-1114	加古郡稲美町国安 323-3		0794-92-2554	('99/4)
3	土橋 久美子	560-0021	豊中市本町 3-7-63		06-6849-2543	('99/4)
4	岡本 吉生	243-0303	神奈川県愛甲郡愛川町中津 3505		0462-86-3520	('99/4)
5	津村 博次	656-2541	洲本市市由良 3-9-10		0799-27-1935	('99/4)

退会

13名

味木 繁喜、小島 肇、青地 貞夫、小林 敬、西谷 喜美子、福岡 悟、三木 令夫、皆木 勉
宮下 豊光、池田 二三子、浅尾 彰人、佐藤 孝一、杉田 利雄

現在の会員数は 215名です。

住所表示変更と住所変更

水井 一雄	篠山市野中402	(郵便番号・電話番号は変化無し)	('99/4)
渡辺 昇	篠山市東新町80	(郵便番号・電話番号は変化無し)	('99/4)
田代 敏胤	631-0804 奈良市神功 5-5-15	0742-71-3240	('99/4)

クロマチック・ハーモニカを もっとよく鳴るように！ == 小冊子販売 ==

吉村 則次

クロマチック・ハーモニカは、買ってきてそのままでは、一応は鳴りはしますが、残念ながら満足には鳴らないものです。慣れも必要ですし、買ったあとの調整、途中でのメンテナンス、調律、更には部品交換、修理等が必要な、一面やっかいなものです。それらは、一部既に本会報に掲載し、演奏及び修理の経験から、更に続いて書いております。しかし、連盟会員の大多数が複音愛好者であることを考えると、これら全部を会報に載せ、紙面を占有する訳には行かないので、小冊子としました。希望者には郵送いたします。コピー実費、郵送費実費、封筒代等に当てるため、80円切手で500円分をお送りください。利益を得るために売るものではありませんので、もし役に立つものであれば、コピーして配られても結構です。

591-8008 堺市東浅香山町3-104-5-201
吉村 則次 電話及びFAX 0722 51-9398

内 容

マウスピースのメンテナンス	p 2
バルブは永遠の未完成品	p 3
スライドは無音にできる！	p 5
合計	10ページ



これからの作成予定

ハーモニカそのものに関して：ピッチが狂ったのはどうして分かる？、リードの調律の仕方、リードの取り替えにはリベットとネジ/ナットの方法がある、空気漏れはどこでどうして起こる、その発見と修理方法、各メーカー毎の比較
演奏に関して：「きれいな音」とは何か、息の入れ方、いろいろなビブラートの方法と習得方法、リズムの練習、カラオケでハーモニカを吹こう、楽譜の記載方法等々

関西ハーモニカ連盟 公開名簿

組織部

(この名簿は、'99/4/5 の常任理事会決議に基づいて会員に対してのみ公開するものです)

氏名の五十音順に配列してあります。

1999/5/12 現在

読み	会員No.	氏名	〒	住所	電話番号
あ行	215	饗庭 榮子	530-0041	大阪市北区天神橋 2-5-4	06-6352-5477
	216	饗庭 茂	601-8188	京都市南区上烏羽南中の坪町 25	075-671-5337
	1	青木 聰	636-0934	生駒郡平群町初香台2-9-5	0745-45-2080
	3	赤崎 智勢子	636-0801	生駒郡三郷町夕陽ヶ丘 3-3-6	0745-73-2710
	4	秋野 實	536-0008	大阪市城東区関目3丁目13番26号	06-6931-5647
	6	浅見 満夫	611-0025	宇治市神明石塚71-10	0774-22-1683
	217	姉川 敏彦	520-0861	大津市石山寺 2-4-8	077-534-3862
	200	安部 寿	816-0094	福岡市博多区諸岡5-13-3	092-591-0755
	7	安部 裕子	565-0812	吹田市千里丘中 4-4	06-6877-4186
	9	天野 恭子	561-0831	豊中市庄内東町4丁目4-5	06-6333-1456
	10	新井 尚子	600-8326	京都市下京区花屋町通西洞院東入る563	075-361-3982
	11	新井 善久	600-8326	京都市下京区花屋町通西洞院東入る563	075-361-3982
	12	有宗 好人	874-0841	大分県別府市竹ノ内町8組の1	0974-21-3872
	13	安藤 要	611-0042	宇治市小倉町南堀池45-7	0774-22-1009
	14	猪飼 幸太郎	615-0004	京都市右京区西院下花田町28	075-312-5966
	225	池田 利男	664-0851	伊丹市桜ヶ丘 5-2-11 (アカイ楽器)	0727-84-2621
	15	石田 勝巳	610-0111	京都府城陽市富野高井60-117	07745-2-3812
	16	板村 忠重	666-0116	川西市水明台2-3-70	0727-93-0594
	17	井上 純一	569-1118	高槻市奥天神町1-3-16	0726-81-6226
Q	18	今井 康郎	663-8179	西宮市甲子園9番町11-50-701	0798-48-1885
	19	入江 章次	569-1141	高槻市氷室町3丁目6-16	0726-95-0654
	20	岩崎 恭史	599-8238	堺市土師町3051	0722-77-1726
	21	岩村 実男	611-0031	宇治市広野町東裏71	0724-41-6324
	226	上垣 博子	675-1114	加古郡稲美町国安 323-3	0794-92-2554
	22	上田 正一	657-0832	神戸市灘区岸地通5-2-5	078-861-5321
	23	植田 利雄	606-0025	京都市左京区岩倉中町221-1	075-721-2355
	210	上野 稔	546-0031	大阪市東住吉区湯里 1-18-10	06-6703-7403
	24	上本 洋	631-0076	奈良市富雄北3丁目21-5-301	0742-43-7738
	25	浮田 一二三	589-0013	大阪狭山市ぐみの木2丁目362-6	0723-66-1925
	26	宇佐美 進	573-1155	枚方市招提南町2-7-15	0720-57-2077
	27	内山 進	536-0014	大阪市城東区鳴野西1-10-1	06-6963-1935
	28	宇津原 昭	567-0832	茨木市白川2-14-5	0726-34-2827
	29	梅田 恒弘	611-0021	宇治市宇治塔川3-11	0774-21-2373
	30	梅本 醇子	655-0011	神戸市垂水区千鳥ヶ丘3丁目20-34	078-709-5339
	31	戎井 正隆	509-6112	岐阜県瑞浪市小田町223-2	0572-68-8456
	32	大石 喜一郎	567-0674	茨木市新郡山2-31-35	0726-41-2087
	33	太田 しげ弘	538-0042	大阪市鶴見区今津中2-4-7-906	06-6967-4659
	34	大西 浩一	658-0016	神戸市東灘区本山中町3-7-3-201	078-412-1229
	213	大森 務	576-0031	交野市森南 2-13-9	0720-94-2499
	35	大矢 博文	243-0032	神奈川県厚木市恩名1010-8	0462-21-5930

	36	岡田 進玄	632-0054	天理市檜垣町460	07436-6-1602
	224	岡 ヒサ子	761-0612	香川県木田郡三木町氷上 788-3	087-898-7434
	37	岡村 貞彦	666-0137	川西市湯山台2丁目84番6号	0727-92-3686
	228	岡本 吉生	243-0303	神奈川県愛甲郡愛川町中津 3505	0462-86-3520
	38	岡谷 秀喜	584-0072	富田林市高辺台 3-4 61-204	0721-28-5071
	214	奥野 陽子	575-0023	四条畷市楠公 1-11-12	0720-76-8148
	39	織田 太郎	531-0062	大阪市北区長柄中1-1-7-205	06-6358-7008
	40	小原 正照	679-4017	龍野市揖西町土師954-1 東共同宿舍 301	0791-66-0304
か行	41	開田 敏子	565-0855	吹田市佐竹台4丁目9-7	06-6871-5286
	42	垣見 昇	560-0002	豊中市緑丘3-1-3	06-6855-9788
	43	角田 樹美	533-0032	大阪市東淀川区淡路4-20-41	06-6322-0077
	44	加藤 ミヨ子	596-0821	岸和田市小松里町288-4	0724-43-4721
	45	金川 一	576-0031	交野市森南3-39-11	0720-91-1798
	46	金丸 寿夫	595-0044	泉大津市河原町3-40	0725-21-4314
	221	川島 嘉正	675-1111	加古郡稲美町印南 2398-1	0794-95-0957
	47	川本 建治	611-0028	宇治市南陵町2丁目1-215	0774-22-5160
	48	神戸 栄一郎	545-0011	大阪市阿倍野区昭和町5-4-9	06-6621-5485
	49	菊池 和子	565-0831	吹田市五月ヶ丘東8番C502	06-6339-0995
	50	菊地 好晃	578-0981	東大阪市吉田島の内 1-6 府住1棟-104	0729-65-8136
	51	北尾 秀夫	600-8464	京都市下京区菊屋町746-3-505	075-365-2548
	52	北川 啓太郎	569-0825	高槻市栄町2-34-3	0726-93-5015
	53	木谷 悦子	569-1118	高槻市奥天神町1-28-20	0726-83-2187
	208	木下 加奈美	602-0046	京都市上京区上立売通新町西入西大路町65-3	075-451-4433
	54	木原 徳夫	562-0044	箕面市半町2-14-41	0727-21-5939
	55	草間 やす子	636-0803	生駒郡三郷町東信貴ヶ丘3-11-8	0745-73-9128
	56	楠田 華子	611-0025	宇治市神明石塚54-152	0774-23-1429
	57	楠 陽児	533-0007	大阪市東淀川区相川1-2-1-801	06-6349-5573
	58	功刀 玲二	610-1146	京都市西京区大原野西境谷町2-9-22-502	075-332-6851
	59	久保田 隆	610-0302	綴喜郡井手町清水39-2	0774-82-2544
	60	黒田 吉郎	615-8073	京都市西京区桂野里町10	075-381-5847
	62	古謝 誠子	565-0874	吹田市古江台4-1 B3-304	06-6832-3785
	63	後藤 貞男	596-0005	岸和田市春木旭町36-17	0724-41-0552
	64	小西 善三郎	611-0027	宇治市羽拍子町67	0774-41-6785
	205	小林 由美子	662-0046	西宮市千歳町7-42	0798-22-1844
	66	近藤 員代	636-0802	生駒郡三郷町三室2-12-9	0745-73-2539
	67	近藤 末子	565-0851	吹田市千里山西1-41-21	06-6384-2569
	68	近藤 隆	558-0927	大阪市住吉区長峽町1-2	06-6671-2928
さ行	69	斉藤 壽孝	146-0082	東京都大田区池上3-37-6-202	03-3827-8677
	70	坂井 信子	532-0023	大阪市淀川区十三東5-5-21	06-6301-1004
	71	酒井 涼爾	532-0038	大阪市淀川区東三国6-18-22-502	06-6392-0391
	72	坂川 重雄	561-0831	豊中市庄内東町 3-19-15	06-6332-1402
	223	酒巻 勇二郎	655-0895	神戸市垂水区坂上 3-1-30	078-753-1618
	73	坂本 和子	636-0012	北葛城郡王寺町本町 5-3-38	0745-73-2612
	192	佐藤 俊美	875-0043	大分県臼杵市上塩田1組	0972-63-7817

	75	讚良 宏子	533-0021	大阪市東淀川区下新庄6-3 A402	06-6323-9088
	76	山水 隆丞	651-0055	神戸市中央区熊内橋通 5-4-1	078-221-0509
	77	飾磨 一夫	662-0931	西宮市前浜町 11-5-406	0798-34-2154
	78	志知 昭治	651-0072	神戸市中央区脇浜 3-5-3-203	078-251-9231
	79	嶋崎 英子	565-0874	吹田市古江台5-5 B30-308	06-6831-0289
	80	島田 征夫	666-0116	川西市水明台2丁目3番28号	0727-92-1282
	81	庄戸 寛忠	657-0042	神戸市灘区新在家南町 3-10-11-702	078-861-6316
	82	白鳥 達夫	577-0824	東大阪市大蓮東 2-9-12	06-6728-7951
	194	菅村 一雄	520-2315	野洲郡野洲町辻町268	077-587-3137
	83	鈴木楽器販売(株)	561-0817	豊中市浜 2-20-35 ハイツ古川 103号	06-6336-2235
	84	千田 清忠	584-0072	富田林市高辺台 2-27-26	0721-29-8235
	195	(有)ソハマミュージック	540-0034	大阪市中央区島町 1-4-1-201	06-6966-3050
た行	85	高瀬 豊一	580-0042	松原市松が丘2丁目1-26	0723-32-3566
	86	高畑 幸夫	612-8484	京都市伏見区羽束師鴨川町104	075-933-3704
	219	高比良 由郎	591-8033	堺市百舌鳥西之町 1-98-2 陵南住宅 1-403号	0722-57-8506
	87	高松 之晴	562-0046	箕面市桜ヶ丘4-5-4	0727-23-7824
	88	高見 登	673-1424	加東郡社町中古瀬316-2	0795-42-1690
	89	滝沢 博俊	386-0032	長野県上田市諏訪形 834-5	0268-23-6960
	198	武村 脩	630-8003	奈良市佐紀町 2767	0742-33-1987
	90	田代 敏胤	631-0804	奈良市神功 5-5-15	0742-71-3240
	91	田中 啓介	561-0857	豊中市服部寿町1-10-10-403	06-6864-2544
	92	田中 祥雄	610-1127	京都市西京区大原野上里鳥見町14-20	075-331-1033
	93	田中 迪子	611-0043	宇治市伊勢田町砂田 6-165	0774-20-4398
	94	棚橋 隆弘	571-0013	門真市千石東町25-9	0720-82-7470
	203	田邊 峯光	206-0024	東京都多摩市諏訪1-53-1-101	042-371-8840
	95	谷口 昌子	520-0804	大津市本宮2-10-6	0775-22-2540
	96	谷本 尚子	653-0813	神戸市長田区宮川町3丁目35	078-691-5334
	97	玉井 成志	874-0904	別府市南荘園町4組	0977-23-9202
	98	壇 和雄	663-8513	西宮市南甲子園3-3-24 マンハイム 2-101	0798-47-6102
	99	辻 晋哉	546-0024	大阪市東住吉区公園南矢田4-16-12 A-202	070-5439-2049
	100	辻田 鏡三	636-0012	北葛城郡王寺町本町5-2-38	0745-73-1856
	101	辻部 暁子	559-0017	大阪市住之江区中加賀屋1-9-1-804	06-6685-6399
	102	辻本 昌彦	567-0844	茨木市大同町4-9	0726-35-3458
	103	筒井 松太郎	520-0027	大津市錦織2-9-16	0775-22-5466
	104	坪田 康男	600-8326	京都市下京区西洞院花屋町西角	075-371-6280
	229	津村 博次	656-2541	洲本市由良 3-9-10	0799-27-1935
	105	出村 佳津男	535-0031	大阪市旭区高殿3-19-25	06-6952-5583
	106	寺田 敏雄	534-0027	大阪市都島区中野町5-8-37	06-6928-8386
	107	寺村 安雄	590-0133	堺市庭代台1-37-20	0722-97-5737
	108	徳永 延生	538-0054	大阪市鶴見区緑 1-5-22	06-6934-7266
	109	戸田 秀徳	674-0056	明石市大久保町山手台1-70	078-936-3320
	227	土橋 久美子	560-0021	豊中市本町 3-7-63	06-6849-2543
	110	豊島 良和	662-0866	西宮市柳本町10-5	0798-74-1236
な行	111	中居 隆博	610-1146	京都市西京区大原野西境谷町2-9 17-1	075-333-1455

	112	中川 敬一	665-0011	宝塚市南口2-13-30	0797-72-2092
	113	永崎 裕子	636-0805	生駒郡三郷町美松ヶ丘東1-5-5	0745-73-8519
	114	中島 喬	732-0053	広島市東区若草町15番5号	082-264-0171
	115	中島 正子	564-0073	吹田市山手町3-17C-215	06-6388-3888
	116	中瀬 清	615-8265	京都市西京区山田御道路町 8-10	075-391-4588
	117	中田 庄太郎	546-0031	大阪市東住吉区田辺4丁目4-7	06-6622-5444
	118	中田 幸美	570-0034	守口市西郷通3-12-7	06-6996-3504
	119	中西 康四郎	611-0002	宇治市木幡中村4	0774-32-0366
	120	永野 富康	583-0033	藤井寺市小山5-5-8	0729-53-8680
	121	中原 一成	563-0022	池田市旭丘3丁目1-18	0727-61-4747
	122	永久 欣示	573-1171	枚方市三栗1-14-10	0720-56-3659
	123	仲村 眞	545-0005	大阪市阿倍野区三明町2-6-10	06-6624-5606
	124	植崎 義男	590-0101	堺市宮山台3-2-3-403	0722-93-2862
	125	西田 幸司	658-0084	神戸市東灘区甲南町4丁目3-22	078-453-6478
	211	西原 正男	694-0025	伊丹市奥畑 1-39-1	0727-79-4078
	127	西村 斉	639-1017	大和郡山市藤原町3-20	0743-52-5391
	128	西本 豪介	576-0031	交野市森南2-13-8	0720-91-8883
	129	西脇 榮子	545-0004	大阪市阿倍野区文の里2-16-11	06-6622-5930
	130	野呂 芳子	565-0842	吹田市千里山東町2-17E-207	06-6388-6138
は行	131	橋本 朝子	565-0875	吹田市青山台1-2 C38-301	06-6832-5491
	222	橋本 政明	636-0131	生駒郡斑鳩町服部 2-9-17	0745-74-1804
	132	橋本 隆太郎	583-0032	藤井寺市小山藤美町15-14	0729-55-7574
	133	畑 婦美子	583-0011	藤井寺市沢田2丁目7-17 松尾コーポ 南棟1F東	0729-39-5913
	134	服部 健	572-0027	寝屋川市石津東町19-14	0720-29-1289
	135	花岡 眞吾	562-0003	箕面市西小路3-6-12	0727-22-2488
	136	濱田 保子	574-0043	大東市灰塚5-7-4	0720-73-4151
	137	濱野 二生	570-0006	守口市八雲西町1-4-10	06-6992-0672
	138	林 ヨシ子	594-0073	和泉市和気町2-3-6-611	0725-44-9592
	139	速水 純	604-8084	京都市中京区富小路三条上がる	075-221-2720
	204	梁木 進	599-8116	堺市野尻町179-31	0722-86-4889
	140	飛田 保雄	611-0031	宇治市広野町寺山17-79 ^{Fax} 0774-43-3789	0774-41-6568
	141	平口 謙二	579-2081	東大阪市額田町4-3	0729-87-2300
	142	平田 弘	545-0034	大阪市阿倍野区元町2-8 ハイツ三善 2F	06-6623-4800
	196	平野 満智子	810-0034	福岡市中央区笹丘1-25-17-204	092-716-3803
	143	吹上 晴彦	602-8488	京都市上京区上立売浄福寺西入る ウィアレスト	075-411-1531
	193	藤井 賢治	620-0000	福知山市天田清水上 260 B-304	0773-24-3124
	145	藤木 千鶴子	620-0038	福知山市西中250番の1	0773-22-2550
	146	藤田 章一	870-1147	大分市ふじが丘西区65-2	0975-67-5820
	147	藤本 勇	633-0054	桜井市阿部323	0744-42-6281
	148	船井 伯郎	543-0036	大阪市天王寺区小宮町1-15	06-6771-2517
	149	古澤 良亮	558-0033	大阪市住吉区清水丘 2-13-16	06-6673-9925
	206	古田 豊江	662-0026	西宮市獅子ヶ口町1-35	0798-71-0965
	150	古林 稔	651-1205	神戸市北区花山台18-17	078-581-1443
	151	保理江 元子	610-0351	京田辺市大住ヶ丘 4丁目5-8	0774-62-7649

	152	堀本 幸子	657-0024	神戸市灘区楠丘町2丁目5-13	078-851-8175
ま行	199	松尾 和久	816-0082	福岡市博多区麦野1-24-4	092-581-5379
	153	松川 義明	639-2302	御所市東松本365-40 かつらぎ台西	07456-3-2077
	154	松下 鈴子	574-0023	大東市南新田1-22-403	0720-70-6835
	156	水井 一雄	669-2452	篠山市野中402 (安達医院)	0795-94-0548
	157	水野 昭三	558-0004	大阪市住吉区长居東3-15-26-205	06-6699-6876
	160	宮本 一男	657-0053	神戸市灘区六甲町1丁目2-5	078-821-0609
	161	村上 浩一	653-0874	神戸市長田区西丸山町3-1-22	078-621-0414
	162	村上 博昭	630-0141	生駒市ひかりが丘1-13-20	0743-79-9559
	163	村上 洋治	113-0022	東京都文京区千駄木2-2-12	045-211-7312
	164	村越 克司	949-2235	新潟県中頸城郡妙高村大字関山1085	0255-82-2878
	165	村田 潤	611-0002	宇治市木幡中御蔵山5-5-14	0774-32-1063
	166	森田 ミチ子	655-0006	神戸市垂水区本多聞 3-1-37 トマニ神戸 2415	078-787-2759
	167	森本 恵夫	125-0062	東京都葛飾区青戸2-10-7	03-3693-4438
や行	168	屋嘉比 盛行	581-0005	八尾市荘内町1-2-11	0729-92-1754
	212	安井 亘	590-0143	堺市新檜尾台 4-16 3-304	0722-99-0698
	169	保田 和子	530-0041	大阪市北区天神橋2-1-24-23	06-6351-9880
	170	安田 哲夫	816-0082	福岡市博多区麦野4丁目7-1	092-585-1410
	218	山内 秀紀	466-0807	名古屋市昭和区花山町 94-4	052-759-1108
	171	山川 美英	572-0013	寝屋川市三井が丘1-1 A3-306	0720-32-8938
	172	山田 清	569-1047	高槻市大和1丁目21-15	0726-94-2032
	220	山林 輝之介	562-0043	箕面市桜井 2-17-2	0727-21-6297
	173	山村 信彦	606-0025	京都市左京区岩倉中町377	075-722-0695
	174	山本 一郎	669-1545	三田市狭間ヶ丘5丁目5番地3棟702号	0795-64-0408
	175	山本 広幸	781-1302	高知県高岡郡越知町越知丙261-1	0889-26-2625
	176	山元 幹子	654-0152	神戸市須磨区東落合 3-17-30 アニエ東落合	078-792-5186
	177	山本 隆三	634-0071	樞原市山之坊町117-36	0744-22-9024
	178	横浜 孝行	599-8111	堺市日置荘北町44-28	0722-85-2543
	207	横山 加奈子	650-0002	神戸市中央区北野町 7-5-1 メゾン北野 405	078-241-2636
	179	横山 賢一	569-1031	高槻市松が丘2-19-8	0726-87-9769
	180	吉岡 とみ子	658-0054	神戸市東灘区御影中町4-3-17	078-851-3280
	181	吉川 公代	674-0057	明石市大久保町高丘4-1-53	078-934-4554
	182	吉田 稔	569-0822	高槻市津之江町2丁目12-5	0726-61-7273
	183	吉見 治	661-0953	尼崎市東園田町 2-94-22	06-6497-0534
	184	吉見 忠	610-1113	京都市西京区大枝南福西町1-4-66	075-331-5980
	185	吉村 隆子	636-0821	生駒郡三郷町立野北1-15-3	0745-72-5133
	186	吉村 則次	591-8008	堺市東浅香山町 3-104-5-201	0722-51-9398
	187	吉森 正隆	594-0023	和泉市伯太町5-20-47	0725-43-8720
ら行	209	流郷 龍美	572-0030	寝屋川市池田本町4-53	0720-39-0646
	188	六島 昭治	666-0006	川西市萩原台西1-120	0727-57-8657
わ行	189	渡辺 昇	669-2324	篠山市東新町80	0795-52-0171
	190	和谷 篤樹	600-8223	京都市下京区7条通西洞院西入大黒町239	075-371-7690
	191	和谷 泰扶	Germany	Disseinger Strausse 4 78647, Trossingen	

関西ハ一モニカ連盟 住所地別名簿

p. -1/2

組織部

1999/5/12 現在

住所地	氏名	住所地	氏名	住所地	氏名
愛知県	山内 秀紀	大阪狭山市	浮田 一二三	交野市	金川 一
明石市	戸田 秀徳	大阪市	饗庭 榮子		西本 豪介
	吉川 公代		秋野 實	加東郡	高見 登
尼崎市	吉見 治		上野 稔	門真市	棚橋 隆弘
池田市	中原 一成		内山 進	神奈川県	大矢 博文
生駒郡	青木 聰		太田 しげ弘		岡本 吉生
	赤崎 智勢子		織田 太郎	川西市	板村 忠重
	草間 やす子		角田 樹美		岡村 貞彦
	近藤 員代		神戸 栄一郎		島田 征夫
	永崎 裕子		楠 陽児		六島 昭治
	橋本 政明		近藤 隆	岸和田市	加藤 ミヨ子
	吉村 隆子		坂井 信子		後藤 貞男
生駒市	村上 博昭		酒井 涼爾	北葛城郡	坂本 和子
泉大津市	金丸 寿夫		讃良 宏子		辻田 鑛三
和泉市	林 ヨシ子		(有)ソハミュージック	岐阜県	戎井 正隆
	吉森 正隆		辻 晋哉	京田辺市	保理江 元子
伊丹市	池田 利男		辻部 暁子	京都市	饗庭 茂
	西原 正男		出村 佳津男		新井 尚子
茨木市	宇津原 昭		寺田 敏雄		新井 善久
	大石 喜一郎		徳永 延生		猪飼 幸太郎
	辻本 昌彦		中田 庄太郎		植田 利雄
宇治市	浅見 満夫		仲村 眞		北尾 秀夫
	安藤 要		西脇 榮子		木下 加奈美
	岩村 実男		平田 弘		功刀 玲二
	梅田 恒弘		船井 伯郎		黒田 吉郎
	川本 建治		古澤 良亮		高畑 幸夫
	楠田 華子		水野 昭三		田中 祥雄
	小西 善三郎		保田 和子		坪田 康男
	田中 迪子	大津市	姉川 敏彦		中居 隆博
	中西 康四郎		谷口 昌子		中瀬 清
	飛田 保雄		筒井 松太郎		速水 純
	村田 潤	香川県	岡 ヒサ子		吹上 晴彦
大分県	有宗 好人	加古郡	上垣 博子		山村 信彦
	佐藤 俊美		川島 嘉正		吉見 忠
	玉井 成志	橿原市	山本 隆三		和谷 篤樹
	藤田 章一	交野市	大森 務	高知県	山本 広幸

関西ハ一モニカ連盟 住所地別名簿

p. - 2 / 2

組織部

1999/5/12 現在

住所	氏名	住所	氏名	住所	氏名
神戸市	上田 正一	吹田市	近藤 末子	新潟県	村越 克司
	梅本 醇子		嶋崎 英子	西宮市	今井 康郎
	大西 浩一		中島 正子		小林 由美子
	酒巻 勇二郎		野呂 芳子		飾磨 一夫
	山水 隆丞		橋本 朝子		壇 和雄
	志知 昭治	洲本市	津村 博次		豊島 良和
	庄戸 寛忠	大東市	濱田 保子		古田 豊江
	谷本 尚子		松下 鈴子	寝屋川市	服部 健
	西田 幸司	高槻市	井上 純一		山川 美英
	古林 稔		入江 章次		流郷 龍美
	堀本 幸子		北川 啓太郎	東大阪市	菊地 好晃
	宮本 一男		木谷 悦子		白鳥 達夫
	村上 浩一		山田 清		平口 謙二
	森田 ミチ子		横山 賢一	枚方市	宇佐美 進
	山元 幹子		吉田 稔		永久 欣示
	横山 加奈子	宝塚市	中川 敬一	広島県	中島 喬
	吉岡 とみ子	龍野市	小原 正照	福岡県	安部 寿
御所市	松川 義明	綴喜郡	久保田 隆		平野 満智子
堺市	岩崎 恭史	天理市	岡田 進玄		松尾 和久
	高比良 由郎	ドイツ	和谷 泰扶		安田 哲夫
	寺村 安雄	東京都	斉藤 壽孝	福知山市	藤井 賢治
	楢崎 義男		田邊 峯光		藤木 千鶴子
	梁木 進		村上 洋治	藤井寺市	永野 富康
	安井 亘		森本 恵夫		橋本 隆太郎
	横浜 孝行	豊中市	天野 恭子		畑 婦美子
	吉村 則次		垣見 昇	松原市	高瀬 豊一
櫻井市	藤本 勇		坂川 重雄	箕面市	木原 徳夫
篠山市	水井 一雄		鈴木楽器販売(株)		高松 之晴
	渡辺 昇		田中 啓介		花岡 眞吾
三田市	山本 一郎		土橋 久美子		山林 輝之介
四条畷市	奥野 陽子	富田林市	岡谷 秀喜	守口市	中田 幸美
城陽市	石田 勝巳		千田 清忠		濱野 二生
吹田市	安部 裕子	長野県	滝沢 博俊	八尾市	屋嘉比 盛行
	開田 敏子	奈良市	上本 洋	野洲郡	菅村 一雄
	菊池 和子		武村 脩	大和郡山市	西村 斉
	古謝 誠子		田代 敏胤		

主婦 上月 千恵子
 (大阪府豊中市 49歳)
 丹波から、義母の弟である叔父が見えた。おみやげを開け、義母に「なあ、姉さん、このもち覚えとるか。田植えで忙しい時、兄がいなくて思ったら、よくこのもちを買ってきてくれたなあ」。「覚えとる、覚えとると義母。いたたくと、なんとも軟らかく、あんなにたっぷりで、おいしいこと。ほかに丹波特産の黒豆の甘納豆に、叔母の手

作りのマツタケご飯など、心遣いが伝わってくる。二人は昔話に花を咲かせ、まだ小学校に上がっていない叔父が、義母に「おしん」の世界的ように行ったこと、戦時中の苦労など、話は尽きない。まるで「おしん」の世界的よう

好きたった「荒城の月」をハーモニカで吹いてほしいと、叔父にリクエストした。ハーモニカは、叔父が小さい時に義母に買ったもので、昨年、懐かしさのあまり大阪の難波で買い求めたという。哀愁を帯びた音色がリビングルームに響きわたる。義母と私は静かに口ずさんだ。この時、義母と叔父はきつと幼き日にタイムスリップしていたことだろう。



5/22 (土) Star Diner
 Open 18:30 Start 19:30
 前売 ¥2,700 当日 ¥3,000
 地下鉄桜川駅 桜川レヂデンス天祥ビルB1F
 TEL: 06-6567-7130

5/23 (日) RAG
 Open 18:00 Start 19:30
 前売 ¥2,500 当日 ¥2,800
 木犀町三条上る エンパイヤビル5F
 TEL: 075-241-0446

あらいなおこ ~ はじめての Love Song ~
 ハーモニカライヴ Vol.3



吉森 信
 Piano / Accordion



山田 進人
 Bass



中村 岳
 Percussion / Drums

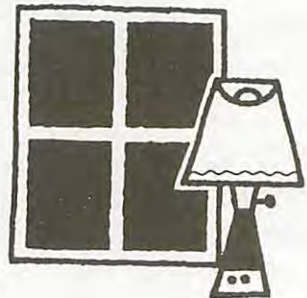
夜空に輝く2小惑星
 「荒城の月」廉太郎

発見の関さん命名

「池谷・関すい星」の発見者として世界的に知られるアマチュア天文家関勉さん(心)高知市上町IIが、一九九三年と九八年に発見した二つの小惑星をそれぞれ「レンタロウ(廉太郎)」「コウジョウツキ(荒城の月)」と名付けたと国際天文学連合(事務局・パリ)に申請、近く認められる見通しになった。本職は

◆MAC・ITAMI ミニ・コンサートこの素晴らしいハーモニカの世界5月9日午後2時、工芸センターで、関西ハーモニカ連盟の吉村則次さん、西田幸司さん、ハーモニカ大阪「ムーソライトセラナーテ」「荒城の月」増生の宿「なごを。無料。問い合わせは同センターへ。

で輝いていた。「コウジョウツキ」は九八年三月十二日、おとめ座の方向で見つかった十八等星。国際天文学連合から与えられた惑星番号は88877番と89577番。いずれも四月上旬に命名申請した。関さんは幼いころ、父親に初めて教えてもらった歌が「荒城の月」で、今では一番の思い出の曲という。十年前には、クラシックギター中級者向けの「荒城の月」をアレンジした変奏曲を作曲、自宅でレクサーンで生徒に教えている。「荒城の月」は、廉太郎が少年時代を過ごした大分



県竹田市の岡城をモデルに作曲された、と言われている。文部省が昨年発表した新しい学習指導要領に伴い、二〇〇二年には音楽の教科書から外される可能性がある。必ず教科書に掲載する義務のある「共通教材」が廃止されるため、竹田市では「荒城の月」を歌い継ぐという署名運動も起きている。関さんは、大分県に住むアマチュア天文家仲間から「教科書からなくさないで」という地元の運動を聞いて、命名申請を思い立った。関さんは「荒城の月」は日本人の心の糧。夜空の星のように永遠に歌い継がれてほしいという願いを込めました」と話している。

特製ハーモニカケース発売！！

手から汗が出て、演奏時にハーモニカがねばねばしていたことはありませんか。

ハーモニカを机の上や楽譜立ての端に置いて、落としてレバーを曲げたり、リードをゆがめたりしたことはありませんか。

ハーモニカをポケットに入れていてごみが入り、音が鳴らなくなったことはありませんか。

市中には、バンドに吊るす布製の筆入れ、携帯電話ケース、工具入れ等が多く出回っておりますが、16穴クロマチックハーモニカを入れる適当な長さのものは今までありませんでした。

そこで、下の写真のような、バンドに着ける特製ハーモニカケースを製作しました。

16穴のクロマチックハーモニカが1本入ります。もちろん、それより短い12穴クロマチック等も入ります。複音ハーモニカなら2本入ります。

表及び裏は衝撃を吸収するためにクッションを挟んだ生地を使用、両サイドと底は通気性のある生地を使用しています。サイズは、長さ215mm、幅75mm、厚さ40mmです。

(ちなみにホーナーのスーパー64のサイズは、それぞれ195mm、45mm、30mmです。)

色は黒のみ。バンドに通して使用します。国産です。

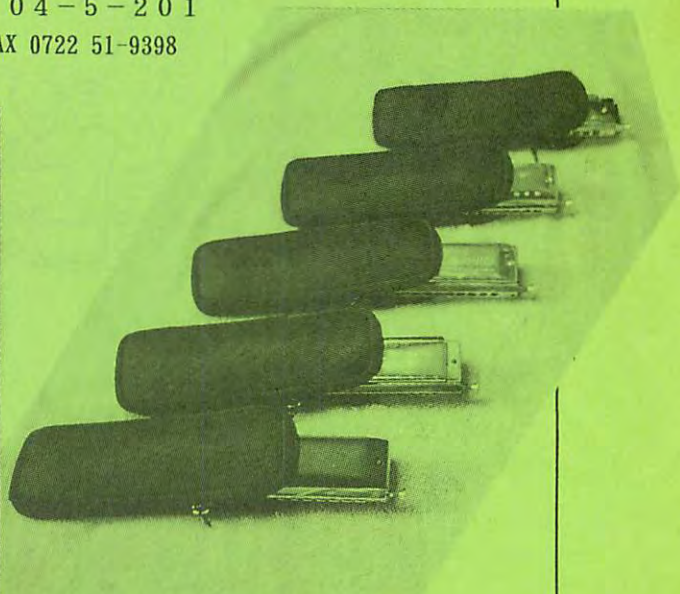
価 格 1,500円(消費税と郵送料込み)

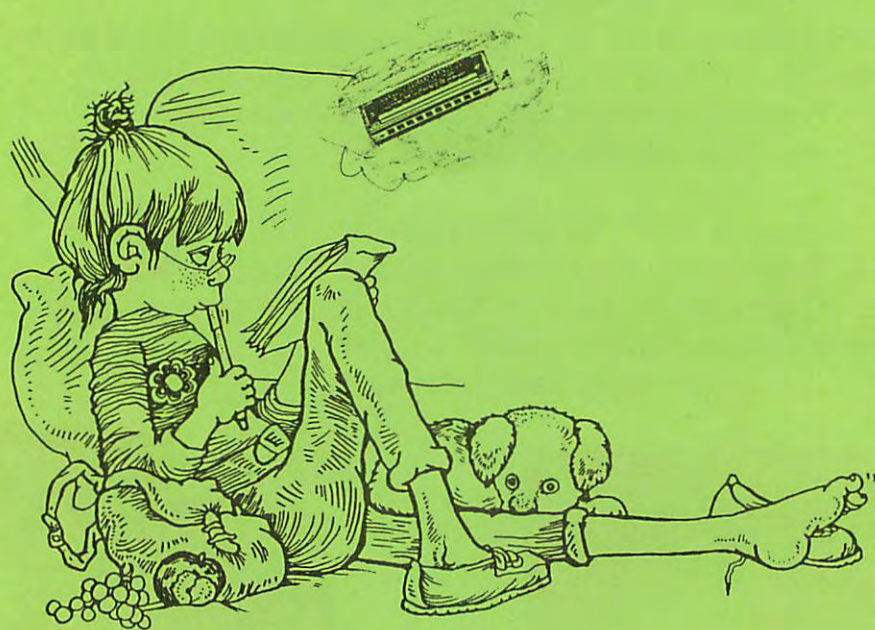
申込先 お近くの郵便局から次の口座へお振込みください。振込手数料は70円

郵便振替口座 00990-6-96827 加入者名 吉村則次

発売元 591-8008 堺市東浅香山町3-104-5-201

吉村 則次 電話及びFAX 0722 51-9398





H	R	O	I	A
A	M	N	C	

関西ハーモニカ連盟